

あかやま ものづくり 補助事業 成果事例集



和歌山県中小企業団体中央会



和歌山県中小企業団体中央会

令和3年1月



はじめに

和歌山県中小企業団体中央会は、平成24年度補正事業で事業化されました「ものづくり補助金」事業の和歌山県地域事務局として、中小企業・小規模事業者の、ものづくり・商業・サービスの分野で設備投資等による革新的な取り組みに対する支援を行い、事業者の皆様の円滑な事業遂行を支えるべく努めて参りました。

「ものづくり補助金」は、中小企業・小規模事業者の革新的な新製品開発や設備投資等を支援し、経営基盤の強化や生産性の向上に大きな効果をあげており、基盤技術の底上げの推進と、地域の産業社会の活性化への大きな後押しとなっています。

本県では、平成24年度補正事業から平成30年度補正事業まで753事業者様が採択されました。

この度、採択事業者様のうち21事例の事業の成果及び今後の展望等について取りまとめ成果事例集として発刊させて頂きました。本事例集が、今後新たな設備投資等にチャレンジしようとする中小企業・小規模事業者の皆様にとって参考となりましたら幸いです。

最後になりましたが、本事例集の作成にあたりご協力頂きました事業者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和3年1月

和歌山県中小企業団体中央会
和歌山県地域事務局

3 … 本事例集の読み方	36 … 平成 29 年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金概要
4 … 平成 25 年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業概要	37 … 平成 29 年度採択事業成果事例
5 … 平成 25 年度採択事業成果事例	38 … プラボテック
6 … 株式会社北浦	40 … まるとも海産
8 … 日吉染業株式会社	42 … 久保印刷デザインルーム
10 … 高垣酒造株式会社	44 … 御坊自動車整備協同組合
12 … 有限会社島本化繊起毛工場	46 … 平成 30 年度補正 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金概要
14 … 平成 26 年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金概要	47 … 平成 30 年度採択事業成果事例
15 … 平成 26 年度採択事業成果事例	48 … 株式会社石橋
16 … 株式会社坂口製作所 和歌山工場	50 … 株式会社カナセ
18 … 株式会社中家青果	52 … オーアイテック株式会社
20 … 株式会社レシアン	54 … 株式会社大和パッケージ
22 … 酒本物流有限会社	56 … 株式会社久保製作所
24 … 平成 27 年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金概要	58 … 平成 25 年度採択事業者一覧
25 … 平成 27 年度採択事業成果事例	60 … 平成 26 年度採択事業者一覧
26 … 和歌山染工株式会社	63 … 平成 27 年度採択事業者一覧
28 … 平成 28 年度補正 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金概要	64 … 平成 28 年度採択事業者一覧
29 … 平成 28 年度採択事業成果事例	65 … 平成 29 年度採択事業者一覧
30 … 株式会社ヤマヨテクスタイル	67 … 平成 30 年度採択事業者一覧
32 … 株式会社第一製版印刷	
34 … 有限会社シーケーテクノ	



1 会社紹介

会社の創業から現在の事業内容を説明しています。製品やサービスの特長、企業の強み、これまで培ってきた技術や設備、企業規模等を記載しています。

2 補助事業

実施した補助事業の具体的な内容について紹介しています。事業を開始したきっかけが社会的な環境によるものか、企業独自によるものか、得意先からの要望によるものかは、各企業によって異なります。ものづくり技術や設備、サービスなどに、どのような課題があり、補助事業でどのように解決したのかについて記載しています。補助事業の目的と目的達成までのプロセス、補助金の使い道についても触れています。

3 成果

各企業の補助事業の成果についてまとめています。補助事業による投資が、短期で受注増や製品の安定供給、コストダウンにつながったり、作業効率が上がったりした企業もあれば、成果に結びつくまで数年かかる企業もあります。各企業では、その成果を具体的に数値で表現しているほか、成果による波及効果について分析しています。

4 今後の展開

補助事業によってもたらされた成果をきっかけにして、今後の事業展開にどのように活かしていくのか、企業の目標について記載しています。

事業の目的

ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野へ参入するなど、革新的な取組にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス開発、設備投資等を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を現に有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【ものづくり技術】、【革新的サービス】の2類型がある。それぞれについて「1. 成長分野型」、「2. 一般型」、「3. 小規模事業者型」がある。

	ものづくり技術	革新的サービス
1. 成長分野型 ・補助上限額：1,500万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	「成長分野」とは、「環境・エネルギー」「健康・医療」「航空・宇宙」とする。【参考：日本再興戦略（平成25年6月14日）】 本類型に申請可能な者は、専ら、上記の3分野のいずれかに関する試作品・生産プロセスの改善・新サービス開発に取り組む者とする。	
2. 一般型 ・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	補助対象要件を満たす案件は、すべて申請可能である。※「1. 成長分野型」「3. 小規模事業者型」に該当する申請も、一般型に申請可能だが、複数の申請はできない。	
3. 小規模事業者型 ・補助上限額：700万円 ・補助率：2/3 ・設備投資は不可	申請可能な者は、「中小企業基本法」第2条第5項（昭和38年7月20日法律第154号）の「小規模企業者」に限る。	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【ものづくり技術】

- わが国製造業の競争力を支える「中小ものづくり高度化法」11分野の技術を活用した事業であること。
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関の確認を受けていること。

【革新的サービス】

- 革新的な役務提供等を行う、3～5年の事業計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること。
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

補助率等

● 対象経費の区分

原材料費、機械装置費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家謝金、専門家旅費、雑役務費

補助率	補助上限額			補助下限額
補助対象経費の3分の2以内	成長分野型	一般型	小規模事業者型	100万円
	1,500万円	1,000万円	700万円	

平成 **25** 年度

採択事業成果事例

平成
25年度

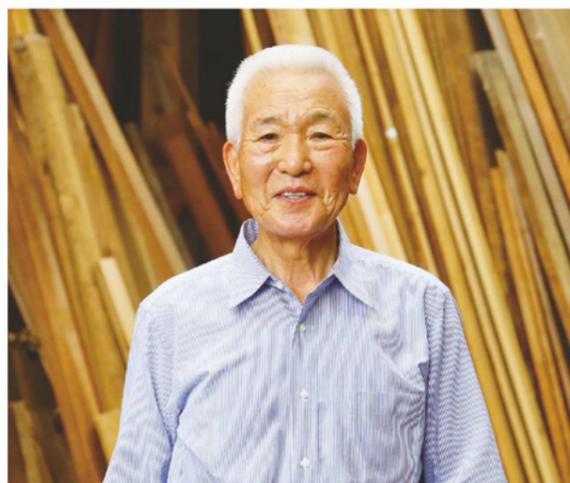
株式会社北浦

匠の技と NC 加工機のマッチングによる、伝統の継承と更なる進化



会社紹介

「木の国」で古くから発展してきた産業を担い 伝統技術を重んじながら時代に合ったデザインも追求



会長 北浦 性次

建具の産地として知られる和歌山市において、長年にわたって木製建具の設計・製作から施工までを営み、日本のものづくり企業の一員であることを誇りに事業を展開している。日本の風土・気候に合い、見た目も美しく香りもよく、さらに強度・耐久性に優れている紀州木材を、作業時の状況や季節、温度や湿度を考慮して、熟練の職人が加工している。伝統技術を重んじた昔ながらの細工と、高い設計能力で仕上げた製品は、こだわりの家づくりやリノベーションに携わる顧客からの依頼が絶えない。

一方で、「お客さまのご要望をカタチにする商品」をモットーに、品質と納期を実直に守りながら、鋼製建具やアルミサッシ・ガラスの施工や販売も行う。玄関、窓の断熱リフォームなど、時代に合った受注も積極的に開拓。日々変換するデザイン性にも気を配り、斬新な木製建具やそれをモチーフにした新商品を次々と生み出している。

補助事業

建具も働き方も進化させる 匠の技と NC 加工機のコラボ

今までの建具製造業は、伝統技術を継承してきた熟練者の技能に支えられてきた。しかし高齢化が進む中、若い技能者の養成が困難であり、このままで推移すれば建具業は存亡の危機にさらされる。若い人材を業界に取り入れるためにも、“匠の技”を数値化する装置を導入し、働きやすい仕事へと変革していくことが重要である。また、デザイン性が高くかつ機能的な建具を提供することで、さらなる需要を望むことができる。

以上のことから、事業計画名を「匠の技とNC加工機のマッチングによる、伝統の継承と更なる進化」と名付け、最新のNCルーター装置(20ZXGN-1326SP-ATC7)を導入し、伝統工芸手法と近代加工技術を組み合わせ、新たな需要と人材に対応することを目指す。



成果

デザイン性の高い製品や 大型製品の製作が可能に

同社は一級技能士5名とデザイナーを擁しており、今までにおいてもデザイン性や機能性の高い分野での需要は少なくなかった。しかしながら、技術者の手作業に依存する加工工程が多く、そのためコストが掛かり、納期にも長時間を要したため、実質的に受注を逃すことがあった。

今回導入したNCルーター装置を使うことによって、時間短縮が可能となり、アール加工(曲げ加工)のようなデザイン性の高い製品の受注にも成功。また、同事業でパネルソー(HP3-3000FK通し定規タイプ)も併せて購入したことから、デジタル表示式移動定規で寸法の間違いがなくなり、切断精度が向上して、大型製品の製作が実現しやすくなった。

また、作業場の安全性が高まり、社員が働きやすい職場環境が整うようになったことも、メリットの一つとして挙げておきたい。



今後の展開

独自の加工能力と製品で 新たな分野にもチャレンジ

最新装置を導入した結果、“匠の技”を生かした操作ノウハウを開発し、一級技能者と同等の加工能力を引き出すことが可能となった。今後は同社が得意とする住宅や施設などの建具はもちろん、寺社用の間仕切り門戸などを含めた、技術性の高い製品にも積極的に取り組む意向である。実際に、ディスプレイ用テーブルなど新たな製品が生み出されていて、関西地域の郵便局などから注文を受けるなど、すでに効果が見え始めている。

会社概要

会社名	株式会社北浦
代表者	代表取締役 北浦 正彦
所在地	和歌山県和歌山市有本507-1
資本金	300万円
従業員数	16名
業種	木製建具製造・設計、施工など
設立年月日	平成22年8月
TEL	073-466-2020
FAX	073-478-0780
E-MAIL	info@e-kitaura.jp
URL	http://e-kitaura.jp/

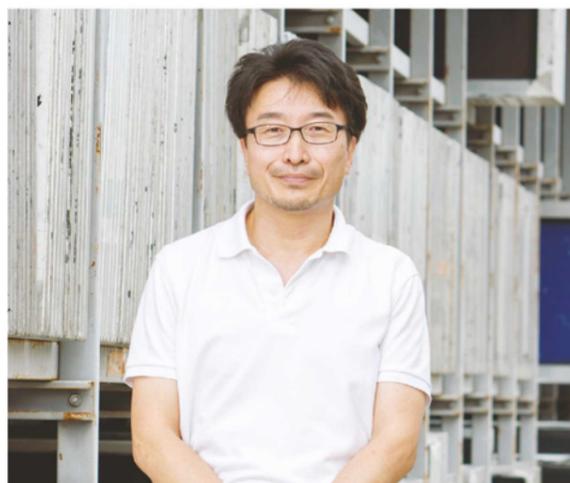
平成
25年度

日吉染業株式会社

捺染糊に含まれる揮発性有機化合物の再利用と着色排水の低減



会社紹介

Made in Japan のこだわりと前向きな姿勢
次世代に繋がるオンリーワン企業を目指して

品質管理課 池上 修司

「日吉染業株式会社」は、和歌山で50年以上続く染色会社。創業以来、Made in Japanというものづくりへのこだわりと、リスクや失敗等をおそれない前向きな姿勢で新商品づくりや加工開発を行ってきた。商品は綿やポリエステルなど、織物を中心としたプリント加工を手掛けており、小ロットで多品種、短納期の顧客ニーズにも幅広く対応。カーテンやバッグ、寝具等、高速でしかも品質の安定したプリント製品を数多く生産している。

中でも大切にしているのは、人と時代を見極める目。日々変わりゆくお客様のニーズにいつまでも応えることができるよう、長年培ってきた染色技術と基礎データとともに、全社員が技術とプライドを持って染色加工を行っている。また研究開発では、日々模索しながらも世の中に存在しない染色加工技術を追求め、ほかでは真似のできない次世代に繋がるオンリーワン企業を目指している。

補助事業

「廃捺染糊処理装置」の導入で
経済と環境の両面から問題解決

同社では、ミネラルターペンの再利用と着色排水の低減のため「廃捺染糊処理装置」を導入した。もともと捺染糊には、印捺性を向上させるために揮発性有機化合物(ミネラルターペン)が添加されている。ターペン自体は石油を精製して得られるものなので、近年変動の激しい原油価格に左右されていた。また、捺染作業工程で発生した余剰捺染糊等は廃液として処理をし、排水処理施設に運ばれたあとさらに、浄化処理を経て、水質汚濁防止法の規制値をクリアさせてから河川へ放流していた。今回導入した装置では、捺染糊廃液を液体分(ミネラルターペン)と固形分(染料や糊料)に分離。液体分を再利用しつつ固形分を焼却処分することで、経済と環境の両面から問題を解決することに取り組んだ。

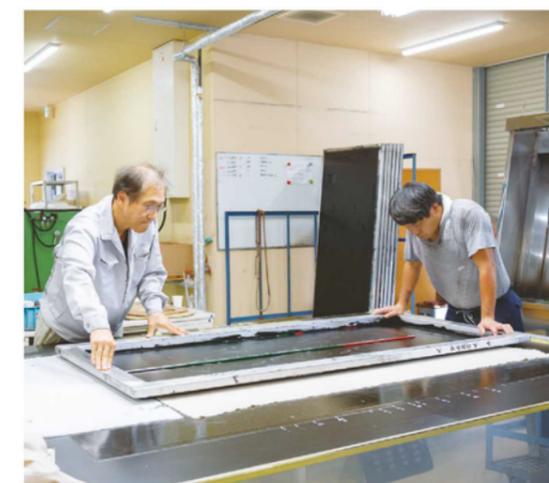


成果

原価の低減とランニングコストを抑え
さらに水質汚染や臭気等、環境面も改善

経済的効果としては、捺染糊の原料で大きな比重を占めるターペンの購入費が抑えられ、製造原価の低減に大きく貢献している。また捺染糊の廃液は従来、凝集沈殿法や活性汚泥法など各種の措置をとり無害化してから河川へ放流。この処理施設は、廃捺染糊処理装置に比べて規模が大きく設備の運営・維持に大きなコストがかかっていたため、ランニングコスト等も低く抑えることができた。

一方、環境面に関する効果としては、揮発性有機化合物(VOC)であるターペンの削減により、大気への曝露を減らすことができ、分離した濃縮スラリー(汚泥)は産業廃棄物として回収・焼却処理されるため、水質汚染の心配もなくなった。さらに同装置は密閉式で大気中に飛散するターペンを抑制。従来、工場内に充満していた有機溶剤特有の臭気も軽減され、分離後のスラリーも同様に悪臭が軽減されることから、作業環境の改善にも大きく貢献している。



今後の展開

環境問題に取り組み配慮しながら
地元企業として住民と共存共栄

新たな処理装置導入後すぐに工場移転があり、移転設置したあとも住宅エリアの騒音問題などで防音壁を増設。現在、住民の理解を得ながら稼働率を調整している。業界をリードする企業として、環境に配慮しながら作業品質の管理に取り組むことは、これからの商圏を拡大する上で重要な課題の一つである。また各取引先企業は、環境対策に取り組む工場と優先的に提携することを宣言しているため、法律や規制のさらに上をいく自主的な活動が求められている。

会社概要

会社名	日吉染業株式会社
代表者	代表取締役社長 山本 憲
所在地	和歌山県和歌山市秋月1
資本金	1,000万円
従業員数	60名
業種	繊維染色整理業(綿布加工、捺染加工、並びに販売)
設立年月日	昭和41年7月30日
TEL	073-471-3326
FAX	073-472-5224
URL	https://www.hiyoshi-sengyo.co.jp

平成
25年度

高垣酒造株式会社

低温管理技術による高付加価値商品の開発



会社紹介

初代から続く酒造りへの思いを受け継ぎ 180年
高野街道筋でお大師様ゆかりの霊水に魅せられて

代表取締役/杜氏 高垣 任世

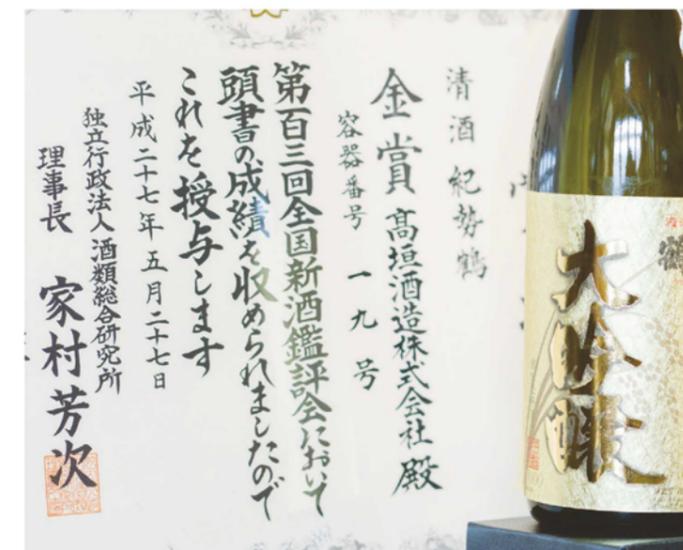
天保11年(1840年)創業の老舗酒蔵「高垣酒造」。有田郡有田川町に位置し、昔は聖地・高野山へと向かう高野街道筋の宿場町として栄えた山あいの町である。近くには有田川源流のひとつでもある早月溪谷があり、不老長寿の「空海水」とも呼ばれる岩清水がこんこんと湧き出ている。このまろやかでコクのある空海水に魅せられたのが、高垣酒造の初代・高垣又右衛門さん。高野山を開いた空海ゆかりの霊水で酒を造ることを思いつき、蔵元を始めたという。

現在は9代目・高垣任世さんが女性杜氏として活躍。一度も休むことなく初代が独自に編み出した発酵法で、素朴な手造りの味わいを守り続けている。創業から変わらない作り手の思いと手造りならではの優しい風味は、有田の地酒として親しまれ、全国にも多くのファンを持つ。代表銘柄は屋号でもある「紀勢鶴」。華やかな味わいの「喜楽里」や、復活した「龍神丸」も高垣酒造の看板商品である。

補助事業

紀勢鶴ファンの後押しを受けて
銘酒・龍神丸の復活、そして…

高垣任世さんが高垣酒造を受け継いだのが10年程前のこと。先代でありご主人の淳一さんが急逝したのがきっかけで、このまま170年続く歴史を途絶えさせてはいけなと、経理など裏方から杜氏という職人の世界へ飛び込んだ。一から醸造を学び、現場で鍛えられながらも、当初は細々と作り続けていければと考えていたという。しかし、地元の声援や全国から届くお便りなど「みなさんが待っている」という声に背中を押され、決意を新たに多くの人に届けると決めた。その第一弾として、先代が酒造への情熱と技術を注ぎ込んで醸した銘酒「龍神丸」を4年間かけて復活させた。これに手応えを感じ、さらに高付加価値商品の開発を目指すため、低温管理できる製造環境の高度化を行った。



成果

低温管理できる製造環境の高度化
全国新酒鑑評会で見事「金賞」獲得

酒造りにおいては安定したムラのない温度、菌の状態管理が大きな課題。そこで製造環境の高度化を行い、低温管理を実現。酸度、雑味を減少させ、市場拡大が可能である食前・食中酒への展開を目指した。導入した機械はサーマルタンク、酒類用振動式密度計、ポイラー、洗米機、洗瓶機の5機。導入の結果、発酵過程において購入したサーマルタンクを用いることで、適切な品温の維持・推移が可能となり、酒類用振動式密度計にて頻りに分析をし、もろみの状態を把握することで、酸の出過ぎや雑味が減少。酒造りの改善ならびに品質向上の結果、平成27年度全国新酒鑑評会にて大吟醸酒が見事に「金賞」を獲得。これにより同事業の目的の一つであった大吟醸酒の商品開発の一部を達成した。さらに多くのお客様に支持された龍神丸の大吟醸と純米吟醸の復活に成功した。これを機に他府県への販路を拡大しつつ、蔵人とパート4人の採用で地域雇用にも貢献している。



今後の展開

設備の充実と従業員の増加で
国内だけでなく海外へも進出

大吟醸酒をはじめ、付加価値のある“特定名称酒”を造るのに必要な設備をそろえることで、製造環境技術分野(給水率・温度管理・分析・清浄等)が高度化し、醸造技術が安定した。また設備の充実と従業員の増加で、製造量を増やすことが可能となったことから、海外への輸出も検討している。現在、韓国からプライベートブランドの協力要請があり共同開発が進行している。ただ新型コロナウイルスの影響で、国内・海外の販路拡大が伸び悩んでいるが、必ず来る再開に向け準備を進めている。

会社概要

会社名	高垣酒造株式会社
代表者	代表取締役/杜氏 高垣 任世
所在地	和歌山県有田郡有田川町小川1465
資本金	1,000万円
従業員数	4名
業種	酒造業
創業年月日	天保11年(1840年)
TEL	0737-34-2109
FAX	0737-34-3052
URL	http://www.takagakishuzo.com

平成
25年度

有限会社島本化繊起毛工場

起毛時にマイクروسコープを駆使した軽くて柔らかい保温性のある高品質な寝具の開発



会社紹介

多様な生地に対応できる“起毛界の駆け込み寺”
自社製品を立ち上げ、次世代の育成にも注力



代表取締役 島本 和寛

起毛機の製造職人であった初代・島本延太郎と2代目・島本欣次が、昭和28年に創業。起毛とは生地の表面の繊維の毛羽(けば)を出す処理のことを指し、同社では毛布やケット、シーツ、布団カバーなど寝装寝具全般に加え、レース、ニット、資材など多種多様な素材や織り・編みに対して起毛加工を施している。起毛師と呼ばれる職人の技術に加え、ドイツ式、フランス式、英式の起毛機も保有し、あらゆる生地の加工を手掛けているため、業界では“起毛界の駆け込み寺”と呼ばれ、全国各地から依頼が寄せられている。

約70年にわたって培ってきた加工技術を次世代に受け継ぐため、職人の育成に力を入れると同時に、オリジナル製品の開発や販売にも着手。自社ブランド「紀州ねる」を立ち上げ、インターネット販売を中心に展開し、起毛メーカーが自ら手掛ける寝具やベビー用品、タオルなどのラインアップを発表している。

補助事業

最新の検査機器を取り入れ
高精度の品質管理を図る

「起毛時にマイクروسコープを駆使した軽くて柔らかい保温性のある高品質な寝具の開発」は、試作品の測定体制の構築や開発を実現するために必要な機械装置を導入した。

起毛加工業を長年営む同社には熟練の職人が在籍し、技能や経験により、他社では製作不可能な起毛品を作り上げている。この生産過程に、デジタルマイクروسコープや自動金属検出器などによる高精度の検査を取り入れれば、より高品質で管理の行き届いた商品づくりにつながる。また、ミシン設備(インターロック、オーバーロック、特殊マジックメロー、コンピュータ刺繍)を充実させることで、縫製のデザイン性の向上と効率性の強化も同時に図った。



成果

新しい生産工程を通して
魅力ある商品が12種誕生

各種生地を用意し、それぞれの特徴に適した、“軽くて柔らかい保温性のある起毛”に加工できるよう、新しい工程と器機で試作を繰り返した。その結果、12種の商品の開発に成功した。加工途中や仕上げ時の起毛状態をマイクروسコープの画像で確認することで誤差をなくし、均一な品質管理を実現するなど、高品質な起毛風合いや機能を兼ね備えた魅力ある商品に仕上げることができた。

また、高性能金属検出機で安定的な検出と高速処理が認められ、デジタル処理をすることでより精度の高い検出も可能となった。さらに事業の開始時と終了時で、縫製のスピードと正確性が格段の向上を見せたことも記しておきたい。



今後の展開

ネット販売で全国規模への
マーケット拡大を狙う

起毛加工、縫製加工を社内一貫体制で行い、目標通りの高品質な寝具の開発が現実化したことで、ネット販売事業部では、ユーザーを個人向けに絞るとともに、全国展開へのマーケット拡大を狙う。

また、今回の事業で習得した縫製スキルを活用して、新たな事業化につなげたいと考えている。今年度は初めてマスクの製作・販売を行って実績を残したが、今後も医療や福祉向けの製品を順次作っていききたいなど、事業拡大に向けて意欲を燃やしている。

会社概要

会社名	有限会社島本化繊起毛工場
代表者	代表取締役 島本 和寛
所在地	和歌山県和歌山市市小路227-5
資本金	300万円
従業員数	23名
業種	繊維加工業
設立年月日	昭和36年4月
TEL	073-457-1180
FAX	073-457-1190
E-MAIL	simamoto.kimou@outlook.jp
URL	http://shimamotokimou.com/

事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。また、【革新的サービス、共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】の3つの類型がある。その中で、【革新的サービス】については「1. 一般型」、「2. コンパクト型」がある。

	一般型	コンパクト型
革新的サービス	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	・補助上限額：700万円 ・補助率：2/3 ・設備投資不可
ものづくり技術	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	
共同設備投資	・補助上限額：共同体で5,000万円（500万円/社） （「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません） ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【革新的サービス】

- 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【ものづくり技術】

- 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【共同設備投資】

- 本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。
- 事業管理者は、事業実施企業が出資した組合、共同出資会社又は事業実施企業が社員である社団法人であること。ただし、申請時には組合等を構成していなくても、交付決定までに組合等を構成する場合は、その任意グループでの申請ができる。その場合、組合等として法人格を得た後、交付決定することとする。
- 組合又は共同出資会社については、事業管理者として申請を行う以外に、事業実施企業として、補助事業に参画することができる。
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- 共同体内において、代表者が同一である、株式を支配している等、実質的に同一とみられる企業が2社以上存在する場合、申請できる社はそのうち1社とする。

補助率等

● 対象経費の区分

機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費

補助率	補助上限額			補助下限額
	革新的サービス	ものづくり技術	共同設備投資	
補助対象経費の3分の2以内	一般型	1,000万円	5,000万円 (500万円/社)	100万円
	コンパクト型			

平成 **26** 年度

採択事業成果事例

平成
26年度

株式会社坂口製作所 和歌山工場

高精度なベンダーの活用による板金加工品の海外競争力強化



会社紹介

国内最高クラスのアルミ・ステンレス溶接技術
一貫対応で世界に感動をもたらすものづくりを提案

工場長 下垣 彰伸

紀伊山地の中央に位置する有田川町清水地区に和歌山工場を構え、アルミ・ステンレスに特化した板金・溶接・組立加工を行う「株式会社坂口製作所」。中でも国内最高クラスのアルミ・ステンレス溶接技術を有し、溶接資格保有者延べ30名以上が在籍して業界を牽引している。仕事は板金加工から溶接、組立、検査まで一貫対応。職人の技術だけでなく、最新鋭のレーザー加工機やサイクルローダー付NCタレットパンチプレス、プレスプレーキなど各種板金加工設備を完備し、高速・高精度の加工を可能にしている。「およそアルミ・ステンレス製のものであれば作れないものはありません」と自負する製品群は、小物部品から大型構造物まで幅広く、新幹線の部品や食品・製薬工業用のトレイ、信号器具箱、車椅子、選挙の投票箱など多岐にわたる。単なる下請ではなくお客様のパートナーとして、世界に感動をもたらすものづくりを提案している。

補助事業

業界に先駆けた生産体制で
高品質と低価格・短納期を実現

経済のグローバル化でさまざまな製品が海外調達される中、板金加工の分野においても低付加価値製品はすでに海外調達が進んでいる。国内は海外調達が困難な高付加価値製品の製造が中心。同社においても同様に、品質要求のレベルが高度化し、さらにコストダウンや納品までの期間短縮など「高品質」と「低価格・短納期」を両立できる体制の確立が求められた。課題となったのは、業界共通のネックでもある溶接歪(ゆがみ)。品質レベルの高度化に伴い歪矯正にかかる時間が増大し、コストアップの要因にもなっていた。今回、業界に先駆けて歪矯正作業を大幅に短縮する画期的な生産体制の確立を目指し、高精度曲げ加工用「ベンダー」を導入。曲げ加工精度を極限まで追求し、大幅な工数削減を図った。



成果

蓄積したデータと最新鋭のベンダー
さらに卓越した溶接技術で高付加価値を

溶接歪への対策としては従来、溶接歪量を予測した素材の裁断から始まり、板金加工、歪発生量の少ない溶接施工、溶接歪の矯正と、順に行ってきた。溶接施工は同社のもっとも得意とするところであり、課題となったのは歪量の予測と板金。歪量は、材質や形状、温度や湿度によっても異なるが、長年蓄積したデータベースをもとに、製品に合わせて精度よく歪量を予測するシステムを作成した。板金加工においては、高精度なベンダーを導入することで問題を解決。曲げ精度の大幅な向上、作業の高速化、曲げ角度の自動測定、調整機能搭載による効果、金型交換の大幅な効率化、ランニングコストの低減と、歪量予測システムを有効に生かしながら、大きな成果を得ることができた。製品の品質向上はもちろん、全体工数の20~30%の削減により作業短縮とコストダウンも達成。これらの高付加価値により、国内競争力だけでなく海外競争力の強化にも繋がった。



今後の展開

BtoCで個人顧客と認知度を
次代の担い手を探し育てる

曲げの精度を上げることで手直しが少なく溶接の強さもさらに増し、製品のクオリティーも大幅に向上。今後は既存の受注アイテムのほか、新規受注アイテムにも着実な増加が期待でき、新業種への進出も見込める。また次なるターゲットとしてBtoBからBtoCへ。オリジナル商品の販売を通じて、認知度とモチベーションのアップを図るとともに、個人のお客様を増やすことで次代に続く働き手を獲得。アルミ・ステンレスの溶接技術を継承する担い手の育成に尽力する意向だ。

会社概要

会社名	株式会社坂口製作所
代表者	代表取締役 坂口 清信
所在地	和歌山県有田郡有田川町清水877-1
資本金	1,000万円
従業員数	81名
業種	工業用各種アルミ・ステンレス製品の設計・製造・加工および販売
設立年月日	昭和61年
TEL	(本社)06-6661-7007
FAX	(本社)06-6659-3030
URL	https://sakaguchi-ss.co.jp

平成
26年度

株式会社中家青果

柑橘類の光センサーを用いた、糖度、内部障害果識別による商品価値化向上計画



会社紹介

地元農家との太いパイプと自慢の青果物を強みに
季節の味わいを安定して消費者に届ける果実卸業



代表取締役 中家 義輝

補助事業

高品質な選果・選別システムに
果実内評価を加えて要望に対応

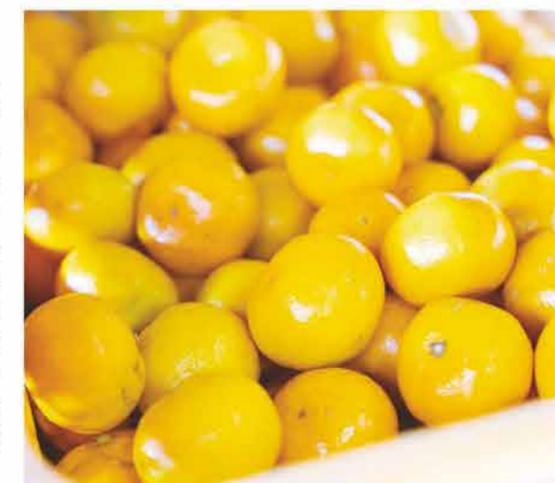
青果物は商品として市場流通するため、農林省により主要果物について階級と外観品位による等級の全国統一規格が制定されている。みかんなど大量の収穫物を正確かつ迅速に、選別・包装・出荷するには高品質な選果・選別システムが必要であり、同社では平成25年に「果形選別装置」を導入した。しかし近年は糖度や酸度の縛りのある注文が多く、選別だけでは顧客の満足度を十分に満たすことができなくなっていた。今回導入した「光センサー式果実内容評価システム」では、光センサーを用いて糖度、内部障害果識別を鑑定。市場の要望に対応するとともに、今後、柑橘類の糖度アップは果樹栽培農家にとって重要な課題になることから、ブランド化育成にとっても大きな役割を果たすことになる。



成果

顧客要望に応える正確な品質評価
信頼を得つつ自信を持って精算・指導

作業の流れは、あらかじめ農家で選別されたみかん等の表面目視→果実識別(内容評価)ラインに投入→糖度、酸度、浮皮、す上がりおよび種混入選別→各々の個体をデータベース化→果実寸法等検出装置へ搬送→選別ボックスへ小分け→搬出(箱詰め等)と、さまざまな工程を経て出荷される。今回、同システムを導入したことにより、1つ1つの甘さの正確な品質評価を得ることができ、青果物1個体で他社と差別化。品質評価に基づく成果物の選別で、顧客要望への対応および販路も大きく広がった。味を保証した上での販売のため、顧客の信頼度もアップし、選果工程の省力・省コスト化にも大きく貢献している。また従来の果形選別では難しかった公平な精算と指導も、品質評価に基づいているため、量販店へ販売価格など差別化のアドバイスを行えるようになった。これにより販売戦略・販売先別の工程管理が充実。計画的な出荷に大いに役立っている。



今後の展開

おいしさ求める指導と所得向上
消費者も生産者もみんな笑顔に

今回導入したシステムは、甘さの保証だけでなく、内部障害果を除去することで、消費者が満足する商品を提供。それによりクレーム率も低減している。これらの品質評価が数値により公平になるため、生産者の信頼がより高くなった。今後、選果で得られた品質データを蓄積し、栽培技術へフィードバックすることで生産管理等の経営を拡大。生産者へ適切な指導を行うことで、果実の品質向上に役立てるとともに、最終的には生産者の所得向上にも繋がりたいと考えている。

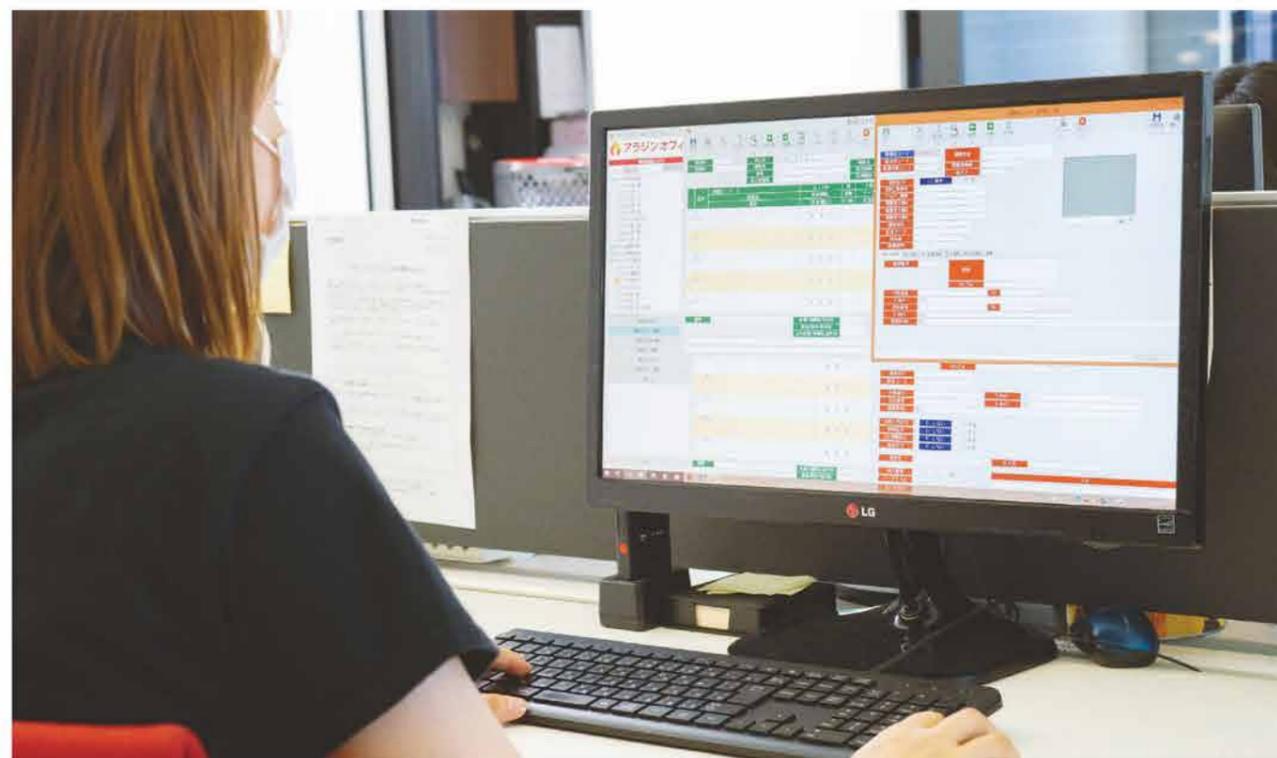
会社概要

会社名	株式会社中家青果
代表者	代表 中家 義輝
所在地	和歌山県紀の川市貴志川町北267
資本金	—
従業員数	17名
業種	柑橘類ほか桃、柿、梅などの果実卸
設立年月日	平成3年1月
TEL	0736-64-4145
FAX	0736-64-4531
E-MAIL	nakayaseika@soleil.ocn.ne.jp

平成
26年度

株式会社レシアン

クラウドを活用したシステム開発による新しい注文サービスの提供事業



会社紹介

「安心」の基本は愛犬家の皆様の満足感と幸福感 家族の一員である愛犬の健康を日々の食事からサポート



愛する家族(愛犬)の健康を日々の食事からサポートする「株式会社レシアン」は世界的に評価の高いプレミアムドッグフードBLACKWOOD、CARNA4、Britの輸入販売を通して、日本の愛犬家とその家族に安心の日々を届けている。同社にとっての家族とは、両親や子ども、兄弟はもちろん、愛犬も大切な家族の一員。また同社にかかわる取引先や従業員、さらにその家族も含めて、あらゆる形で関係するすべての人たちのことも、家族として捉えている。そんな愛する家族に、最高品質のペットフードを通して、愛犬の元気、喜び、そして愛犬家の皆様に満足感と幸福感を感じてもらうことが、同社が考える「安心」の基本。結果として生み出された利益は、取引先や従業員へ還元。働く従業員など、大切な家族の環境を一層向上させることで、より安心なサービスをお客様に届けるとともに、良い循環を生み出せるよう日々努力している。

カスタマーサービス 田村 知也

補助事業

顧客数の増加とニーズの多様化 満足度の高いサービスを目指して

同社では、顧客数の急激な増加とニーズの多様化に伴い、お客様の満足するサービス提供が難しくなっていた。中でも課題となっていたのが、受注から出荷、請求書までの一元化。全国のお客様(ショップ・リーダー・個人ユーザー)から、電話やFAX、インターネット(簡便なメールシステム)で注文を受けて出荷。納品書から配送伝票、在庫管理までExcelで作成。データ入力もその都度、最低限必要な書類作成に辛うじて対応している状況であった。さらに受注に際しても「言った」、「言わない」というトラブルのほか、在庫状況が不明瞭でスムーズに対応できないこともあった。これらの課題を解決するため、同事業を活用して「アラジンオフィスNET営業支援システム」を導入した。



成果

24時間365日いつでも受注が可能 トレーサビリティでより安心を届ける

システム導入後は、データが一元化され、課題であった注文→出荷→請求までの一連業務、生産→出荷の在庫管理、顧客情報および販売情報の管理・集計・分析、お客様からの問い合わせに対する検索もリアルタイムに行うことが可能となった。営業担当者がリモートで情報共有できることから、お客様への営業フォローや新製品の案内などの販促活動にも役立っている。

また、同システムと連動したWebショッピングサイトの構築によって、24時間365日の受注、お客様自身による注文履歴の確認が可能となり顧客サービスレベルの向上につながった。さらにロット番号の導入でトレースが可能になり、より安心してお客様に製品を届けることができるようになった。



今後の展開

磐石な組織体制で営業を強化 次なるヒット商品の開拓も

ショッピングサイトの構築と営業支援システムの導入・連携によって、お客様自身が簡単に効率よく製品を発注できるようになった。それにより受注の誤りを防ぎ、さらに事務処理の効率を上げることができた。同システムを活用して社内の組織体制を磐石にすることで、今後の製品アイテム、出荷数、売上増加にも十分に対応できる体制を構築した。積極的な新規開拓を含め営業を強化しつつ、健康フードとして愛犬たちが喜ぶ新商品の発掘・開発にも力を入れる。

会社概要

会社名	株式会社レシアン
代表者	代表取締役 平野 敬子
所在地	和歌山県和歌山市和歌浦南3-9-1
資本金	888万円
従業員数	21名
業種	ドッグフード輸入卸販売、ペット雑貨販売、国産おやつ販売等
設立年月日	平成13年9月27日
TEL	073-448-2422
FAX	073-448-2420
E-MAIL	info@leschiens.co.jp
URL	http://www.leschiens.co.jp

平成
26年度

酒本物流株式会社

新型尿素水製造装置導入によるトラック排ガス浄化装置の閉塞防止とコスト削減



会社紹介

和歌山の産品を迅速・的確・安価で届ける
“有田川町から全国へ” 運送業を通じて地域に貢献

取締役 阪本 享三

一般貨物自動車の運送業等を営む「酒本物流株式会社」。“有田川町から全国へ”を合言葉に、運送業を通じて地域社会に貢献し、会社と個人の目的を達成するため共に一丸となって良い職場を創り出す「酒本運送」の関連会社であり、ミカンや梅など和歌山が誇る地域の産物を関西や関東をはじめとする消費地に、迅速・的確・安価で届けることで、地域産業の発展に寄与し続けている。保有車両14台、関連会社を含めると100台以上。ミカンの最盛期ともなれば、ほぼ全車両が長距離輸送トラックとして稼働する。

そんな中、問題になっていたのが自動車の排気ガス規制である。自動車の内燃機関から排出されるガス（排出ガス、排気ガス、排気）に含まれる有害物質の量の規制で、近年では特にディーゼルエンジンから排出される排出規制が年々厳しくなっている。規制数値もそれぞれ各都道府県によって異なり、エンジンそのものの見直しが求められた。

補助事業

SCRシステムで排ガスを浄化
しかし市販の尿素水に問題が…

ディーゼル車の排ガス規制をクリアするため同社では、尿素水を添加したSCRシステム（排気ガス浄化技術の一つ）により、排ガスを浄化している。しかし市販の尿素水では長期の使用で排気管が閉塞。市販の尿素水に含まれるトリウレットという物質が製造過程で除去できていないため、トリウレットが原因のシアヌル酸がマフラー内部に蓄積し、故障の原因となっていた。修理費はトラックの大きさ等により異なるが30~70万円。この不具合はSCRシステム自体の欠陥ではなく、従来の尿素水に問題があるためメーカーリコールにはならず、修理代は運送事業者の負担。同社のように長距離輸送が多いトラックには影響が顕著であり、事業の根幹に関わる問題のため早急に対策を講じた。



成果

自社内に新型尿素水製造装置を設置
コストを削減しつつ夏の雇用対策にも

この問題を解決するために株式会社オプティ社が新型尿素水製造装置を開発。特殊なフィルター（特許第54099489号）で閉塞の原因となるトリウレットを除去するもので、オプティ社ではこの尿素水をエコツライトと称している。同社では平成26年12月からエコツライトを試験的に使用し、その精度を確認している。その結果従来のような故障が全く発生しないことから、同事業を活用して新型尿素水製造装置そのものを購入して自社内に設置。自給することにより燃費の低下を防止、修理費の削減と尿素水購入費用の削減を図った。

原料の尿素粉粒体を攪拌タンクに入れることから始まり、最終工程の成分検査まで現状要員で高品位尿素水を生成している。新型尿素水製造装置を使う作業時間は約3時間。この生成作業は雇用を確保する大きな事業であり、ミカンの輸送がない夏場の閑散期に毎年集中して実施している。



今後の展開

製造現場に障害者雇用を
トラック業界への供給も検討

将来的に生産量が増加すれば、積極的に障害者雇用を促進するという同社の企業方針にも合致するため、製造現場において障害者雇用を検討している。また業界全体の問題として、安価な輸送費が経営を圧迫していることから、どの企業も燃料費や修理費、人件費などのコスト削減を余儀なくされる。今後、数値として確実な効果が確認できれば、トラック業界の各社に、同社で製造した尿素水を実費ベースで供給し、各社の効率化に貢献していきたいとも考えている。

会社概要

会社名	酒本物流株式会社
代表者	取締役 阪本 享三
所在地	本店：和歌山県和歌山市西浜1660-554
資本金	1,000万円
従業員数	17名
業種	一般貨物自動車運送業、産業廃棄物収集運搬業ほか
設立年月日	平成17年1月12日
TEL	0737-52-6101
FAX	0737-52-6822
URL	http://sakamotounso.com

事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つのタイプがあります。それぞれについて「1. 一般型」、「2. 小規模型」、「3. 高度生産性向上型」がある。

	革新的サービス	ものづくり技術
一般型	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3以内 ・設備投資が必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	
小規模型	・補助上限額：500万円 ・補助率：2/3以内 ・設備投資可能（必須ではない） ・補助対象経費：機械装置費、原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費	
高度生産性向上型	・補助上限額：3,000万円 ・補助率：2/3以内 ・設備投資が必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【革新的サービス】

- 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (高度生産性向上型のみ)「IoT等を用いた設備投資」を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5%を達成する計画であること。

【ものづくり技術】

- 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画（3～5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画）であること。
- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (高度生産性向上型のみ)「IoT等を用いた設備投資」を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5%を達成する計画であること。

補助率等

補助事業		補助率	補助上限額 (下限額)
類型	対象経費の区分		
一般型 (革新的サービス、ものづくり技術)	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	補助対象経費の 3分の2以内	1,000万円 (100万円)
小規模型 (革新的サービス、ものづくり技術)	機械装置費、原材料費(※) 技術導入費、外注加工費(※) 委託費(※)、知的財産権等関連経費(※) 運搬費、専門家経費、クラウド利用費(※) (※=設備投資のみの場合は対象となりません)		500万円 (100万円)
高度生産性向上型 (革新的サービス、ものづくり技術)	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費		3,000万円 (100万円)

平成 27 年度

採択事業成果事例

平成
27年度

和歌山染工株式会社

生産性・品質・コストでの優位性を向上させるデジタル^{なっ}捺染システムの構築

会社紹介

“染色一筋”で業界をけん引してきた100年企業
「技術」と「感性」で捺染の最先端に挑み続ける

取締役社長室長
経営企画・人事労務担当

松本 卓也

地場産業の一つである染色業で、明治40年に創業。和歌山県100年企業として表彰され、長寿経営の秘訣(ひけつ)を、「現場主義を徹底、経営と現場の距離をなくし、また時代のニーズに敏感に反応し、技術力の向上と設備投資に取り組んだこと」と述べる。染色加工一筋の経営で培った「技術」と、長年受け継がれてきた職人の「感性」を武器に、近年では企画・デザインの分野にも参入。またデジタル捺染を早くから採用していることでも知られる。

主要製品は布団側地、アパレル服地、インテリア、雑貨など。また、企業ブランド力強化の一環として、老舗ならではの企画提案力の高さを反映させたファクトリーテキスタイルブランド「RIEKA」「和歌和花」を平成27年に立ち上げ、同社オンラインショップ等で販売。環境保全にも会社一丸で取り組み、生産活動から排出される布や染料の残液は可能な限り再利用するリサイクル形成を行っている。

補助事業

最新鋭デジタルプリンターで
生産と品質のさらなる向上を

同社ではフラットスクリーンやロータリーのアナログプリントを主流で行っている一方で、国内でいち早く量産型デジタル捺染装置も導入し、さまざまな顧客の依頼に対応してきた。

今回の事業で購入した、株式会社ミヤコシ製の「インクジェット捺染プリンター」(MTP-1800)は、粒状感のない高濃度で高精細な色表現が可能な最新型で、生産性と品質の両面で優位性を大幅にランクアップさせることができる。そのため、良質の製品を生地見本として既存顧客に評価してもらえると同時に、海外を含めた多種多様な展示会に出展するなどして、新規顧客の獲得を推進し、受注増・収益性の向上にもつなげることを目的としている。



成果

月産50,000m以上の加工実績
大手顧客からも高評価を得た色表現

導入した「インクジェット捺染プリンター」は1時間で800平方mの印刷が可能で、同社既存機と比較すると生産性が2倍にアップ。また、色表現に関しては、倉敷紡績株式会社のデジタル捺染システムを採用したため、クオリティーが劇的に上がった。実際に、デジタルプリント事業の顧客である大手商社から、「細線がきれいにできている」「黒系の濃色が以前よりパンチが効いている」「粒状感がなく、インクジェットだと分からないほどよく仕上がっている」などの高評価を受けている。また、IoTによるメンテナンス効率化や生産スピードアップによるコストダウンも実現できた。

すでに月産50,000m以上の加工実績があり、それ以上の注文にも対応が可能。サンプル用の小ロットから大量生産まで受注幅が広く、シーズン中の追加など、ファッション業界のさまざまなニーズにも応えられる柔軟性が自慢だ。



今後の展開

海外のアパレル市場も
視野に入れて販路開拓

同社がターゲットとしている反応染料プリントの衣料分野でのデジタル捺染市場は年々成長していることから、国内はもちろん、海外のアパレル市場でも受注推進を行っていく。

また、従来からの同社の特長である、幅広い風合い加工技術を複合させて、新分野の開拓を展開したいと考えている。具体的には、スカーフやマフラー、ベビー用品などに進出するなど、新しい取り組みにも前向きな姿勢を見せている。

会社概要

会社名	和歌山染工株式会社
代表者	代表取締役社長 高垣 佳宏
所在地	和歌山県和歌山市納定32
資本金	5,000万円
従業員数	150名
業種	繊維加工業
設立年月日	大正10年10月
TEL	073-471-5151
FAX	073-471-5158
URL	http://wsk.co.jp/

事業の目的

国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型がある。また、それぞれについて、「第四次産業革命型」「一般型」「小規模型（設備投資のみ、試作開発等）」の事業類型がある。補助率は、補助対象経費の3分の2以内。

事業類型	対象類型	革新的サービス	ものづくり技術
第四次産業革命型		<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：3,000万円 補助率：2/3以内 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費 	
一般型		<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：1,000万円 補助率：2/3以内 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費 	<ul style="list-style-type: none"> ※雇用増(維持)をし、5%以上の賃金上げについては、補助上限を倍増
小規模型	設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：500万円 補助率：2/3以内 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費 	<ul style="list-style-type: none"> ※最低賃金上げの影響を受ける場合については、補助上限をさらに1.5倍
	試作開発等	<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：500万円 補助率：2/3以内 設備投資：可能（必須ではない） 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、クラウド利用費 	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【共通】

- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (第四次産業革命型のみ)「IoT・AI・ロボットを用いた設備投資」を行うこと。

【革新的サービス】

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

【ものづくり技術】

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画（3～5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画）であること。

平成 **28** 年度

採択事業成果事例

平成
28年度

株式会社ヤマヨテクスタイル

ハイゲージ丸編機導入による生地安定供給とニット市場の拡大



会社紹介

ナンバーワンニットメーカーの使命感と誇りを胸に
時代が求める丸編ニット生地を世に送り出し続ける

昭和9年(1934年)創業のニットメーカー「株式会社ヤマヨテクスタイル」。モットーは変化を恐れず、信念を貫くものづくり。常に相手の立場に立ち、機能性とファッション性を兼ね備えた新しい生地を市場に提供し続けている。これまでスポーツウエアのニット製造を専門とし、歴史と伝統に培われた技術者が、新旧さまざまな編機に工夫を加えて、いまだかつて誰も創ったことのない生地の開発に挑戦。「無理を承知で無理をせよ」というのが同社のポリシー。ラグビーなど日本代表選手が着用するジャージーから有名スポーツブランドの各種アイテム、さらにその広がりには紳士服や婦人服、制服にまでおよび、薄くて軽くて伸びのあるニット生地の特性を生かして、新たなジャンルを切り開く。持ち続けているのはナンバーワンニットメーカーとしての使命感とMade in WAKAYAMAの誇り。ものづくりに真摯に向き合い、信頼と感動を編み込んでいる。

常務取締役
営業本部長

橋本 長治

補助事業

ワイシャツの常識を変えた
完全ノーアイロンのニットシャツ

当時、スポーツシャツとして開発した同社の生地をビジネスタイプのニットシャツとして実用化する動きが、大手メーカーと衣料量販店の3社連携でスタートしていた。これまでビジネスタイプのワイシャツは圧倒的に織物のシェアが高く、ニットシャツといえばカジュアルゾーンが中心。そこで市場から求められるビジネスゾーンに適した生地の開発に着手。ノーアイロンでシワにならず、ハリ・コシ感を出し、生地を軽量化。さらに透けにくく、柄のバリエーションづくりにも成功。市場ニーズに応えたヒット商品となった。売上也順調に推移する中、さらに市場から多種にわたる柄のバリエーションの要求等があり、それに対応する機器として「36ゲージ・シングル編機」の導入が急務となった。



成果

緻密な柄にも対応する希少な新機種
他社との優位性を持続し広げる可能性

新たに導入した編機は、編針の種類とジャックと呼ばれる中心軸となる部分が特徴。これまで柄を新たに創り出すためには、数千本の編針を入れ替える必要があったが、導入した編機は中心軸のジャックを操作することで従来の数倍の対応力となり、さらに糸や柄の変更に要する作業時間が半分以下になった。しかも編機やジャックの組み合わせ次第で、柄のバリエーションは現在の250種類よりさらに広がり、作業時間の効率化や生産性も含めて、多品種・小ロットのニーズに十分対応することができるようになった。

これまでの実績に対する信用力や生産能力、技術力に加えて、この新機種の編機が同業他社の中ではほとんど所有していない強みを生かし、今後もニットシャツ部門の優位性を持続し、スポーツ関連としては、コロナ渦で延期になった東京オリンピック・パラリンピックからも一定のシェアがあり、ビジネスチャンスを広げている。



今後の展開

Made in WAKAYAMA を掲げ
学生服プロジェクトから始動

ストレッチ性も兼ね備えたノーアイロンのニットシャツ生地は、さまざまな分野に応用が可能。今後、新市場として期待できるのが、ニット製のビジネススーツ(ジャケット・パンツ)。防シワ性に優れるため家庭の洗濯機で洗い、軽量感と適度な伸縮性で快適な着心地。さらにユニフォーム分野においても、従来の織物からニットへ流れが移行。現在、生地製造から縫製までMade in WAKAYAMAを掲げた学生服のプロジェクトが進行中。ニットで地元PRにも貢献している。

会社概要

会社名	株式会社ヤマヨテクスタイル
代表者	代表取締役社長 山下 郁夫
所在地	和歌山県西牟婁郡上富田町岩田2878-1
資本金	5,000万円
従業員数	150名
業種	丸編ニット生地製造、販売
設立年月日	昭和9年11月創業
TEL	0739-47-2128
FAX	0739-47-2744
E-MAIL	yamayo2@pearl.ocn.ne.jp
URL	http://yamayotex.co.jp

平成
28年度

株式会社第一製版印刷

AI ネットワーク参入による機械故障の予防保全と生産性向上



会社紹介

商業印刷物全般を取り扱う総合印刷会社
時代に即したデジタル広告や動画制作にも対応

代表取締役社長 松下 孝行

総合印刷会社として、民間企業や官公庁のチラシ、DM、パンフレットなどの商業印刷物をメインに取り扱う。企画からデザイン、印刷、後加工までを全般的に行い、顧客が望む以上の品質を反映させた印刷物づくりに注力している。製作・製版・印刷の各分野において最新鋭機を導入。県内唯一のチラシ専用の印刷機（オフセット輪転印刷機）も保有しており、他社との差別化を図っている。

平成21年には、インターネットを活用して、全国から受注を行う印刷通販サイト「ウェブプレス」の運営を始め、会員数は8,500を超えている。27年にはWEBマーケティング事業部を、28年には動画制作事業部を設立し、デジタル広告やホームページ・PRランディングページの制作など、時代に即したニーズにも対応。また、29年には採用サポート事業部も設立、顧客や社会に貢献できる企業を目指し続けている。

補助事業

業績安定と向上を目指すために
最新型の AI 搭載印刷機を導入

昭和45年の創業以来、県下の印刷業界で事業基盤を固めてきたが、さらなる業績安定と向上を目指すには、改善しなければならない課題が3点あった。1つは印刷機が故障した場合、機械の復旧が都市部の同業者に比べて遅く、売上機会を損失し、短納期を望む顧客の信頼を失う可能性がある。また修理費用が高額であることも問題だ。2つ目は現存機械の生産性の低さ。3つ目は厚紙印刷が0.3mm未満までのものにしか対応できず、現状のままでは取扱商品を増やせない。

AIが搭載された最新モデル「菊半裁四色刷オフセット印刷機」（小森コーポレーション製、GL-426）を使用することで、上記の課題がすべて解決することが分かり、同補助事業を使って導入を決めた。



成果

自ら学ぶ“スーパー印刷機”によって
3つの課題をクリアして新規事業を展開

導入した印刷機にはクラウドシステムを利用した「自己診断」「自己学習」の機能が搭載されている。同社の印刷機も含めた日本全国の最新型の印刷機から、印刷における各ステージの時間や枚数、通電時間などのさまざまなデータがインターネット経由でクラウドシステムに蓄積され、もっともよい印刷方法や状態を印刷機が自動的に学習・改善して選出し、生産性を自ら高めてくれる。また、機械の停止やエラー・異常も自動集計され、その情報を基に印刷トラブルを未然に防いだり、解決したりすることも可能だ。厚紙印刷への対応に関しても、検証を繰り返した結果、0.5mmまで問題なく印刷ができることが分かり、新規事業展開を拡大する予定だ。

同印刷機の使用は県下で初めての取り組みとなったが、メーカーおよび代理店による研修で、操作や保守点検の方法を受講し、ノウハウを習得した。



今後の展開

印刷通販サイトなどで
展開したい厚紙印刷サービス

和歌山市周辺は古くから地場産業の雑貨業が盛んで、梱包材等がよく使われている。しかし、域内に厚紙を印刷できる設備を保有している同業者は少ないため、参入のメリットは大きいと考える。加えて、同社はレーザー加工機を保有しているため、小ロット対応やサンプル作成が可能であり、この点も他社に比べて優位性があるといえる。同社運営の全国対応の印刷通販サイトにも厚紙印刷サービスを追加し、こちらの方でも他サイトとの差別化を図る予定だ。

会社概要

会社名	株式会社第一製版印刷
代表者	代表取締役社長 松下 孝行
所在地	和歌山県和歌山市西浜1660-421
資本金	1,000万円
従業員数	35名
業種	印刷業
設立年月日	昭和51年4月20日
TEL	073-423-2166
FAX	073-423-6939
E-MAIL	data@jprint.co.jp
URL	https://www.jprint.co.jp

平成
28年度

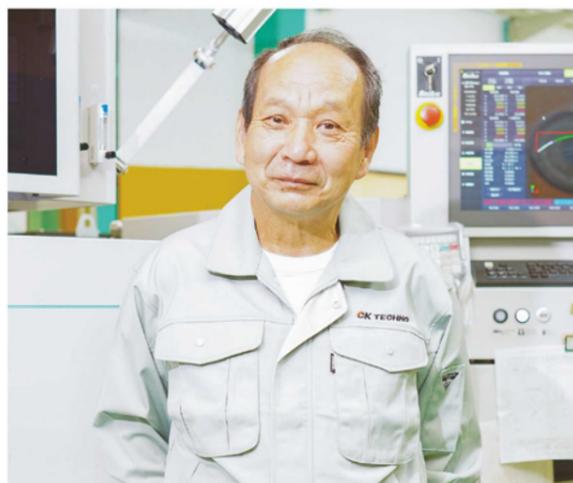
有限会社シーケーテクノ

自動車産業向け部品の製造工程を見直し、高精度、短納期を実現させる計画



会社紹介

培ってきたノウハウを基礎に進化するものづくり
技術にこだわり、「常に挑戦する企業」を目指す



代表取締役 北川 富夫

創業以来、冷間鍛造、圧造工具の製作を行い、主に自動車産業向けフィンガーやチャックスピンドル等を製造。これらの部品を用いて、自動車のパーツを締結する「工業用ファスナー」が生産されている。工場新設や増設向けの量産からメンテナンス向け単品1セットまでと受注の幅が広く、短期納入を目標に対応している。

「常に挑戦する企業」をモットーに、より良い製品を提供できるよう、各工程の改善に絶えず取り組む同社は、近年、加工工程の効率化・高精度化を目的に、NCフライス（静岡鉄工所製）を導入。しかし、自動車産業を中心とした各取引先からの要望や他社との競争において、さらなる生産性の向上等を図るための加工工程の改善が喫緊の課題と考え、補助事業制度を利用。研磨加工で使用する最新の「簡易NC精密円筒研削盤」を購入して、作業の効率を高めると同時に、従業員の技量向上も目指して新たな事業展開を狙う。

補助事業

最新の円筒研磨機を導入して
高精度な商品を短納期で提供

同社が製作する自動車産業向け製造機械部品は、素材加工、焼き入れ、オール研磨、ワイヤ加工、検査の工程を経て製品化されている。今回の補助事業で改善を行う工程がオール研磨で、保有する円筒研磨機では、「機械そのものが古く、精度要求に応えられない」「機械に独特の癖があり、担当者しか使いこなせない」「最大加工径が250mmで、大きなワークの研磨ができない」などの難点が挙げられる。同社が目指す、「より高精度な商品を短納期で提供」を実現するためには、得意のワイヤ加工を軸に各工程間の設備能力の向上、またそれらの設備を使いこなす作業員のレベルアップが欠かせない。そのためには最新の研磨機の導入が不可欠であることから補助事業を展開した。



成果

設備面の体制が整ったことで
金属加工分野の取引拡大に事業展開

最新機は岡本工作機械製作所製の「簡易NC精密円筒研削盤」（OGM330UEXⅢ）で、内・外径をワンチャッキングで加工するユニバーサルタイプ。最大加工径が300mm、芯間距離が330mmと用途が幅広く、治工具や金型部品にも最適だ。

得られた成果として、「精度の向上」「最大加工径の拡大」「電極の内製化」「短納期の実現」「作業員の技能向上」の5点が挙げられる。「精度の向上」に関しては従来の限界精度であった100分の1mmは確実に達成できるようになり、「最大加工径の拡大」では300mmまで対応可能になった。これにより、「電極の内製化」や「短納期の実現」に向けた設備面での体制を整えることができ、また従来の取引先からの受注量の増加と、外注費が減ったことによる経費の削減、自動車産業以外の金属加工分野の取引拡大に事業展開できることが見込まれる。



今後の展開

既存以外の分野においても
同社の得意分野を強化していく

今後は、まず既存分野である自動車産業向けに受注量の増加を進めていく。そして、ワイヤ加工におけるさらなる精度向上ニーズに応えるために、最新の高精度機の導入を再度想定し、得意分野の強化と今回の導入機との相乗効果を目指す。

また、今まで取引のなかった市場においても、近隣同業者から注目されていることから外注依頼の増加が期待できるため、自動車産業向け以外の金属加工分野での取引拡大に力を入れていきたいと考えている。

会社概要

会社名	有限会社シーケーテクノ
代表者	代表取締役 北川 富夫
所在地	和歌山県橋本市上田244
資本金	300万円
従業員数	8名
業種	金属製品製造業
設立年月日	平成14年
TEL	0736-32-7601
FAX	0736-32-7336
E-MAIL	ck-techno@ia2.itkeeper.ne.jp
URL	http://cktechno-inc.com/

事業の目的

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者等*が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。(* 特定非営利活動法人を含む)

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者および特定非営利活動法人に限る。※特定非営利活動法人は2次公募より対象

本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項【革新的サービス】で申請される方は「中小企業等経営強化法」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの対象類型がある。また、それぞれについて、「企業間データ活用型」「一般型」「小規模型（設備投資のみ、試作開発等）」の事業類型がある。補助率は、補助対象経費の3分の2以内となる。

事業類型	対象類型	革新的サービス	ものづくり技術
企業間データ活用型		<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：1,000万円(※) 補助率：2/3以内 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 ※連携体は幹事企業を含めて10者まで。1者あたり200万円が追加され、連携体参加者を乗じて算出した額を上限に連携体内で配分可能。 	※生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限に30万円の増額が可能
一般型		<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：1,000万円 補助率：原則1/2以内 ※以下の場合は補助率は2/3以内 <ul style="list-style-type: none"> 「先端設備等導入計画」の認定を取得した場合 平成29年12月22日以降に経営革新計画を新たに申請し承認を受けた場合 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 その他（2次公募より追加）複数の中小企業者等が連携体として申請を行うことが可能（補助上限額は共同申請全体で1,000万円）。 	
小規模型	設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：500万円 補助率：1/2以内（小規模企業者・小規模事業者、常時使用する従業員が20人以下の特定非営利活動法人の補助率：2/3以内） 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 その他（2次公募より追加）複数の中小企業者等が連携体として申請を行うことが可能（補助上限額は共同申請全体で500万円）。 	
	試作開発等	<ul style="list-style-type: none"> 補助上限額：500万円 補助率：1/2以内（小規模企業者の補助率：2/3以内） 設備投資：可能（必須ではない） 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費 	

◎特定非営利活動法人が申請する場合は、上記に加えて、次に掲げる形態(1)・(2)の応じた要件を満たすこととします。

- 特定非営利活動法人単体で申請を行う場合
法人税法上の収益事業（法人税法施行令第5条に規定される34業種）を行う法人であり、かつ認定特定非営利活動法人でないこと。また、本事業に係る「経営力向上計画」の認定を受けていること。
- 特定非営利活動法人が中小企業者との連携体として申請を行う場合
 - 連携体の半数以上が中小企業者によって構成され、全体の補助金総額の2/3以上は中小企業者に充てること。
 - 特定非営利活動法人に対する補助金額が、連携体を構成する法人の中の最高額とはならないこと。

補助対象要件

【基本要件】

(1) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性を含め、中小企業・小規模事業者の事業をバックアップする認定支援機関により確認されていること。

(2) 申請者が特定非営利活動法人単体である場合、法人税法上の収益事業（法人税法施行令第5条に規定される34業種）を行う法人であり、かつ認定特定非営利活動法人ではないこと。また、本事業に係る「経営力向上計画」の認定を受けていることをこと。

【革新的サービス】

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額^{注1}」年率3%及び「経常利益^{注2}」年率1%の向上を達成できる計画であること。

【ものづくり技術】

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、3～5年計画で「付加価値額^{注1}」年率3%及び「経常利益^{注2}」年率1%の向上を達成する計画であること。

注1：付加価値額＝営業利益＋人件費＋減価償却費 注2：経常利益＝営業利益－営業外費用（支払利息・新株発行費等）

平成 29 年度

採択事業成果事例

平成
29年度

プラボテック

高性能脱臭装置付きペットゲージの自社ブランド商品化実施計画



会社紹介

無限の可能性を感じるプラスチック加工
自在に操る手加工の技術で企業と地域に貢献

ものづくりの町として知られる海安市で、コンピューターや機械ではできない“手加工”の技術を生かしたプラスチック加工を手がける製作所。アイデアを形にする企業として、世の中になかったものを一から提案し生み出す。手がけるのはプラスチック加工職人。ものづくりにおけるソリューションの提供(問題解決)を得意とし、どんな要望にもベストを尽くして応えてくれる。設計から製作まで一貫体制で、中でも曲げ加工や樹脂溶接など、手加工の技術を駆使した“複雑な形状”の加工品を数多く製作。業種も工業から産業、食品、農業、建築関係と幅広く、さらに近年では研究所等からも相談が舞い込む。試作やモデル製作、また3Dプリンターで再現できない透明感や大きさにも対応している。提案型のものづくりは、品質や作業効率の向上、コストダウンにも考えが及び、プラスチック製品・部品づくりを通して、企業にも地域社会にも貢献している。

代表 山本 芳生

補助事業

アイデアは自社ブランドにも
脱臭ファン付きペットゲージ

企業や研究所から相談を受け、提案型のものづくりで個別受注のオーダーを請け負う一方、オリジナル製品の開発にも着手した。プラスチックの加工技術を生かしつつ、世の中のお困りごとを解決する自社ブランドの商品として、高性能脱臭装置付きペットゲージを完成させた。同事業ではこの自社ブランドの商品化に向けて、これまで外注加工で製造していたプラスチックプレートのNCルータ加工部分を内製化するため設備投資を実施した。導入したNCルータはプラスチック板材の切削加工機械で、穴あけや切り欠き、溝加工等をコンピューターで制御し、作業効率の良い機械の導入で、熟練の作業員でなくても安定した品質と寸法精度で加工ができ、量産時にも自動で対応することができる。



成果

クリーンな空気を排出
ペットと一緒に快適生活

自社ブランド製品として開発した高性能脱臭装置付きペットゲージは、金網の柵という常識を覆し、アクリルの透明感と匂い漏れを防ぐ密閉度に着目して製作。デザイン性と自社開発の脱臭フィルターを組み合わせることで、モモンガやハリネズミなど匂いのあるペットと一緒に、リビング等で快適に暮らせるゲージを開発した。これまで製作は電動工具を使った手作業だったため、作業効率が悪く、品質や寸法精度が不安定であった。しかも熟練者でないと加工ができなかったためコストがかかり、量産時の生産計画も立てられない状況であった。今回のNCルータ導入により、これらの問題点がすべて解決した。製造コストの削減、リードタイムの短縮、さらに内製化することで生産性が良くなり、自社の技術として構築することもできた。個人やアニマルカフェなど、お客様からの評判も上々。匂いだけでなく防音効果も現れているという。



今後の展開

デザイン性の高さも好評価
雇用確保で“職人の卵”を育成

今回、自社ブランド製品の第1弾として、匂いの強いモモンガやハリネズミで事業を展開。脱臭性能の高さだけでなく、美しいシンプルな形状のデザイン性も評価され、現在ペットカフェなどで好評を得ている。今後は確実な実績と評価を積み重ねて新たな市場拡大を目指す。また量産体制を構築することで、地元の雇用創出にも貢献。ものづくりへの意欲のある人材を獲得しつつ、その中から特殊加工の道を極める“職人の卵”を見つけることも視野に入れている。

会社概要

会社名	プラボテック
代表者	代表 山本 芳生
所在地	和歌山県海安市阪井1538
資本金	-
従業員数	2名
業種	プラスチック加工業(設計・製造・樹脂溶接・曲げ加工・成型)
設立年月日	平成25年
TEL	050-3695-3508
FAX	073-403-2231
E-MAIL	info@plabotec.com
URL	https://plabotec.com/

平成
29年度

まるとも海産

ノンフローズンしらす増産・新商品開発に向けた生産体制構築



会社紹介

紀州湯浅の漁師町で明治32年に創業
昔ながらの手作り製法を守り続ける老舗店

営業 梶原 亜沙子

紀伊水道に面し、海と山に囲まれた豊かな漁場として知られる湯浅湾。昔からしらす漁が盛んで、紀州湯浅のしらすといえばご当地グルメとして名が上がるほどだ。

「まるとも海産」は明治32年に湯浅町で創業して以来、昔ながらの手作り製法を守りながら、安全で質の高い商品を提供する老舗店だ。水揚げされたばかりのしらすを、目利きの職人が最高級のものだけを選別して入荷。高温の厚釜でゆでる釜揚げしらす、完全天日干しにこだわったちりめんなど、しらすのうま味を熟知しているからこそその商品ばかりがそろろう。また、醤油や山椒、生姜などの調味料は、すべて和歌山産のものにこだわっている。

数ある商品の中で、「しらす佃煮」は和歌山県が認定する優良県産品「プレミアム和歌山」の平成25年度審査委員奨励賞を受賞。そのほかにも、農林水産省食料産業局長賞、和歌山県100年企業表彰などさまざまな受賞歴を誇る。

補助事業

顧客からの強い要望を受けて
生産ラインの改修を図る

同店の商品は、築地市場をはじめとした市場向け出荷の割合が大きかった。しかし、昨今の市場の衰退により、全国各地の商談会を介し、スーパー・問屋等の直接取引の販路を広げている。この取り組みの中で、顧客から現在少量のみ生産している希少性の高い「ノンフローズンしらす」の生産拡大要請と、今後生産を開始したいと考えている「高鮮度生しらす」の早期商品化要請を受けていた。生産および販売を実現するためには、鮮度を保つための作業時間の短縮や、冷蔵・冷凍保管場所の確保が必須とされる。この生産体制を構築するために、同補助事業を利用して、「プレハブ冷蔵冷凍庫」「風力選別機」「コンテナ洗浄機」を導入することを決めた。



成果

求められているしらす商品の生産が実現
品質の要求が高い顧客との取引も可能に

水揚げから消費者の口に入るまで一度も冷凍しない「ノンフローズンしらす」や、水揚げ後に迅速に冷凍する「高鮮度生しらす」は、どちらも厳しい鮮度管理が必要な商品である。同補助事業で機械装置を導入した後、ベルトコンベヤー式のコンテナ洗浄機による作業の自動化、商品をすぐに搬入できるようなプレハブ型冷蔵冷凍庫と作業場の配置換えなど、生産ラインの改修を行ったことで前述の課題をクリアすることができた。

また、新規顧客との取引開始にあたり、全商品の品質確保も求められていたが、さびなどが混入する恐れがある鉄製風力選別機をステンレス製のものに換えたことで、異物混入そのものを低減し、品質を向上。このことで、関東地域のスーパーなど品質の要求が高い顧客との取引を行うことが可能となった。同時に、目視選別の負荷も低減し、従業員の負担も改善されている。



今後の展開

こだわり食材を扱う新規顧客に
同店が誇るブランド力をPR

これまでの営業経験において、商談が成立する顧客はこだわり食材を扱うスーパーに類する業態が多いことから、関東にある有名デパートの催事の出店や、幕張メッセで行われる「スーパーマーケット・トレードショー」に参加するなどして、さらなる販路拡大を狙っていく。同時に、100年以上にわたって築き上げてきた味と加工を誇る同店ならではのブランドの強化、独自性・独創性の発揮などにも、スタッフ一同で力を入れていきたいと考えている。

会社概要

会社名	まるとも海産
代表者	梶原 重文
所在地	和歌山県有田郡湯浅町田325
資本金	なし
従業員数	8名
業種	水産加工業・販売業
創業年月日	明治32年
TEL	0737-63-4555
FAX	0737-63-5447
E-MAIL	info@marutomo-kaisan.com
URL	https://www.marutomo-kaisan.com

平成
29年度

久保印刷デザインルーム

PUR 製本機による作業内製化と新商品開発による新規販路開拓



会社紹介

印刷からデザイン、Web制作、動画撮影まで
商業印刷の枠にとらわれない新たな需要を創出

紀南エリアを中心に、オフセット印刷からオンデマンド印刷、Web制作まで幅広く手がける「久保印刷デザインルーム」。お客様の魅力を表現・伝えることをモットーに、印刷業務だけでなくデザインから請け負い、要望に的確に対応した最高のサービスを提供している。紀南という土地柄もあり観光業やホテル業の顧客も多く、名刺や封筒・伝票などのほか、パンフレットやカタログ、パッケージ、包装紙等、町の印刷屋さんとしてどんな要望にも対応している。「小さい市場でできることは全部！」というのが同社のポリシーだ。近年ではWeb制作の企画から設計、撮影、デザイン、コーディングまでトータルに対応。料理から建築、イベント等の写真撮影、ドローン空撮、動画撮影・編集も行う。オンデマンド印刷機(カラー・モノクロ)導入による小ロット対応から、デザインや撮影等の印刷以外のサービスまで、商業印刷の枠にとらわれない新たな需要を創出している。

営業・制作 久保 丈二

補助事業

印刷物の品質高度化に対応する
PUR 製本機で新たなニーズを

現在、日本における業界の顧客ニーズは、印刷物(複製を大量生産する)をいかに安く仕入れるかと、どれだけ付加価値を生む印刷物を作れるかの、どちらかに二極化してきている。大量印刷物がない同エリアで生き残りを図るためには、小ロットの印刷物に付加価値をつけお客様に提案し、新たな印刷需要を作り出す必要があると考えた。そこで同事業を活用し、新たなビジネスチャンスを獲得するためPUR製本機を導入した。今まで外注していた製本技術を内製化し、オンデマンド印刷と写真撮影の技術を融合させることで、小ロットの冊子や1枚ずつ可変印刷するバリエーション対応のアルバムやカタログ、パンフレットなどの制作に対応している。今後、新たな付加価値を盛り込む「印刷物の品質高度化」に取り組む意向だ。



成果

見開きが良くノド部分まで見やすい
品質を求める冊子を小ロットで受注

PUR製本機のPURとは、製本に使う糊・反応性ポリウレタン系ホットメルト接着剤のこと。従来のEVA(エチレン酢酸ビニル/通称ホットメルト)より本の開きが良く、丈夫で長持ちし、環境にも優れているなど品質面で高く評価され、書籍やフォトブック、小冊子等、幅広い用途に用いられている。今回の導入により、製本の品質面において優位性を発揮し、さらに製本の内製化による納期短縮とコスト削減を実現した。またオンデマンド印刷と組み合わせることで、高品質な小ロットの冊子にも対応することができるようになった。これまでの製本ではできなかったアルバムやカタログなど、厚紙やページ数の多い冊子類も、小ロットで受注することができ、さらに見開きが良くノド部分が見やすい製本となっている。また冊子の用途に応じて糊の噴射量や位置が調整できることから、品質を求めるお客様の要望にも柔軟に対応することができる。



今後の展開

エンドユーザーに響く印刷物
ネット活用で需要エリアを拡大

今後ますますエンドユーザーに共感を得られる印刷物として、写真やデザイン、製本などさまざまな技術を駆使したハイクオリティな冊子が求められるようになってくる。その上で同社も、商品カタログやアルバム市場に参入。既存のお客様にお中元やお歳暮、見本市出店の際のパンフレットやカタログの提案を行うとともに、個人や団体向けの写真集制作サービスにも着手。打ち合わせや商談にはネットを活用し、需要エリアを大きく広げた事業展開を検討している。

会社概要

会社名	久保印刷デザインルーム
代表者	久保 晋也
所在地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町築地8-8-15
資本金	—
従業員数	4名
業種	商業・冊子印刷、写真撮影、動画撮影・編集、デザイン、WEB制作
設立年月日	平成9年開設
TEL	0735-52-9177
FAX	0735-52-9177
E-MAIL	info@kuboinsatu.com
URL	http://www.kuboinsatu.com

平成
29年度

御坊自動車整備協同組合

先進安全自動車（ASV）対応最新エイミング機器導入による顧客車両の安心・安全の提供事業



会社紹介

1市5町を区域とし72の組合員が団結・結集
車検整備事業を中心として進化する業界を牽引する



理事長 北垣 順一

近畿運輸局長から自動車分解整備事業の認証を受けた組合員企業を取りまとめる「御坊自動車整備協同組合」。御坊市・由良町・日高町・美浜町・日高川町・印南町の1市5町を区域とし、時代に対応する組合づくりに動いている。モットーは団結と結集。一店舗でできないことは組合の施設や情報を活用し、小規模が集まって団結することで時代の変化にも対応。組合を生かし、組合で生きること、業界を生き延びるチャンスが広がり、それぞれの自店繁栄に繋がっている。事業としては、車検整備工場や車検場の共同利用による車検整備事業。また車検だけに頼らない組合を目指し、タイヤ販売や売電、レンタカー、各種保険と幅広く展開。約7000㎡の広々とした敷地内に整備工場、タイヤラウンジ、車検ライン、レンタカー等と、共同施設が設けられている。目標は地域業界の核となる組合づくり。さらなるサービスと顧客満足度の向上を考えて業界を切り開く。

補助事業

ASVの普及により求められる
自動車の厳しい点検・整備作業

現在、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援する自動車（ASV）の普及が急速に加速。国土交通省のASV推進計画もあり、各メーカーから続々と発表される車両には、前方障害物衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置、レーンキープアシストなどが搭載されている。これらセンシング技術を搭載した車は、自動車をコンピューターで管理・制御しているため、通常の点検・整備より厳しい手順が定められている。

このたび先進安全自動車（ASV）に対応できる最新エイミング作業機器を導入した。エイミング作業やアライメント調整作業の内製化を実施するとともに、最新洗車機を導入することで、組合員の顧客満足度とサービス面の向上を図った。



成果

全国に先駆けた電子制御装置整備場
知識と実務経験を蓄積し信頼を還元

エイミング調整とは、先進安全自動車（ASV）の各所に設置されたセンサー本体やセンサーに影響を及ぼす周辺整備を行った際に、角度等を補正してセンシングの正常を確認する作業のこと。車検等の作業時には各メーカーの整備マニュアルに則って、調整やシステムの再設定を行うことが定められている。同組合では専用区画を新たに設け、マルチサポートスキャンツールやセンターサポートナビフルパッケージなど、調整や再設定に必要な機械装置を導入。全国に先駆けて電子制御装置整備認証資格を所得し、特定整備事業所に登録された。

また専門的な知識やスタッフ不足等による人為的な課題においては、最新式の門型洗車機を導入することで、洗車作業等の工程を省いて時間を確保した。機械装置の導入前から勉強会を行い、知識を習得し、さらに導入後はメーカー担当者を講師に迎えて、実車を使用した実務経験を蓄積。即時の運用が可能な体制を整えた。



今後の展開

町の整備業者の柔軟な対応が
快適な自動車ライフを支える

今後増えてくる先進安全自動車（ASV）は、コンピューターによる制御・管理で走行。誤作動・未作動が許されないため当然、車検時の点検・整備が厳しく定められてくる。またコンピューター制御に知識のない高齢者の所有や中古のASV自動車の普及を想定すると、町の整備業者の柔軟な対応が消費者の快適な自動車ライフに不可欠となる。整備業者にとっても消費者にとっても多大なメリットであると同時に、地域の自動車整備の発展が組合加入への促進にも繋がっている。

会社概要

会社名	御坊自動車整備協同組合
代表者	理事長 北垣 順一
所在地	和歌山県御坊市藤田町吉田422
資本金	6,480万円
組合員数	72(認証50、指定22)
業種	車検整備、検査ライン機器共用、自動車登録申請・届出代行業務など
設立年月日	昭和45年3月3日
TEL	0738-22-1947
FAX	0738-22-1961
E-MAIL	gobo-seibi@dune.ocn.ne.jp
URL	http://waspa.or.jp/gobo/

事業の目的

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者等*が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。(※…特定非営利活動法人を含む。)

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者および特定非営利活動法人に限ります。

補助対象事業

事業類型	対象類型	革新的サービス	ものづくり技術
一般型		<ul style="list-style-type: none"> 概要：中小企業者等が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援します。 補助額：100万円～1,000万円 補助率：1/2以内 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費 その他 複数の中小企業者等が共同で申請を行うことが可能(補助上限額は共同申請全体で1,000万円)。 	<p>※生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限額に30万円の増額が可能(共同申請の場合は全体で30万円までの増額とする。)</p>
小規模型	設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> 概要：小規模な額で中小企業者等が行う革新的なサービス開発・生産プロセスの改善を支援します。 補助額：100万円～500万円 補助率：1/2以内 設備投資：必要 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費 その他 複数の中小企業者等が共同で申請を行うことが可能(補助上限額は共同申請全体で500万円)。 	<p>※生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限額に30万円の増額が可能(共同申請の場合は全体で30万円までの増額とする。)</p>
	試作開発等	<ul style="list-style-type: none"> 概要：小規模な額で中小企業者等が行う試作品開発(設備等を伴わない試作開発等を含む)を支援 補助額：100万円～500万円 補助率：1/2以内 設備投資：可能(必須ではない) 補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費 その他複数の中小企業者等が共同で申請を行うことが可能(補助上限額は共同申請全体で500万円)。 	

◎特定非営利活動法人が申請する場合は、上記に加えて、次に掲げる形態(1)・(2)に応じた要件を満たすこととします。

- 特定非営利活動法人単体で申請を行う場合
法人税法上の収益事業(法人税法施行令第5条に規定される34業種)を行う法人であり、かつ認定特定非営利活動法人でないこと。また、交付決定時までに本事業に係る「経営力向上計画」の認定を受けていること
- 特定非営利活動法人が中小企業者と共同で申請を行う場合
 - 共同申請の半数以上が中小企業者によって構成され、全体の補助金総額の2/3以上は中小企業者に充てること。
 - 特定非営利活動法人に対する補助金額が、共同申請を構成する法人の中の最高額とはならないこと。

補助対象要件

【基本要件】

- どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性及び補助率アップ必要要件など、補助事業の申請にあたり、中小企業・小規模事業者等の事業をバックアップする認定支援機関により確認されていること。
- 申請者が特定非営利活動法人単体である場合、法人税法上の収益事業(法人税法施行令第5条に規定される34業種)を行う法人であり、かつ認定特定非営利活動法人ではないこと。また、交付決定時までに本事業に係る「経営力向上計画」の認定を受けていること。

【革新的サービス】

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること。

【ものづくり技術】

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること。

平成 **30** 年度

採択事業成果事例

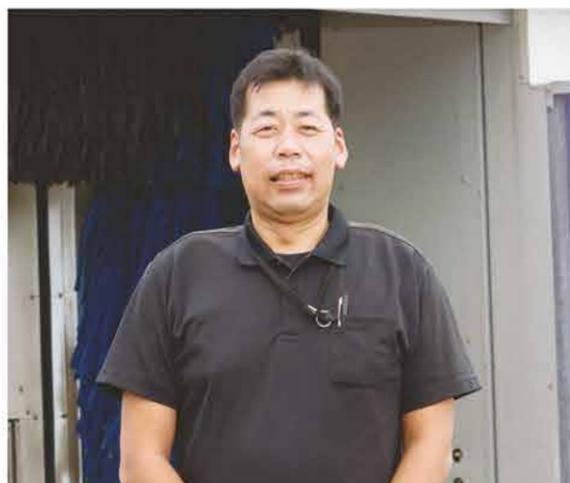
平成
30年度

株式会社石橋

独自セルフ給油システムのキャッシュレス化対応による売上拡大および業務効率化



会社紹介

電子マネーを用いたセルフ給油システムをいち早く導入
全12店舗のプライベートブランド「Gasta」を展開

エネルギー事業部長 井上 和重

ガソリンなどの石油燃料を中心に、それら関連商品の供給事業を推し進める「株式会社石橋」。現在は紀北・紀中・紀南と和歌山県内に9店舗、さらに堺市や貝塚市、泉佐野市と大阪府下に3店舗を展開している。運営するのはプライベートブランドのガソリンスタンド「Gasta」。「いいものをより安く」をモットーに経営革新を実施。2000年のセルフ給油解禁後には、いち早く「電子マネーを用いた」セルフ給油システムを導入するなど、時代変化と顧客ニーズに対応して多くのお客様から支持を得てきた。

また地球環境保全を考慮した生活応援企業としての事業活動も推進し、太陽光発電の設置のほか、E3(バイオエタノール混合ガソリン)の実証事業にも参加している。混合されるバイオエタノールの原料は建設廃木材であり、植物由来の原料を使用することで二酸化炭素の排出量を抑制しつつ、化石燃料でもある石油資源の節約にも貢献している。

補助事業

業界初！ITを活用した
QRコード決済対応のセルフ給油

近年、お客様の購買形態が変化し、現金給油以外にキャッシュレス電子決済のニーズが増加。東京五輪もあり国策としてキャッシュレス化推進の流れにある中で、小売業においてもキャッシュレス対応は差し迫った課題となっていた。業界としてはクレジットカード決済が主流。ただし取扱店決済手数料が約3%で、燃料油販売粗利7%程度のセルフスタンドにおいては経営を圧迫する大きな要因になるため、クレジットを取り扱わないか、取り扱っても燃料油単価を3円程度高く設定する店舗がほとんど。そこで最近急増しているスマホによるQRコード決済需要に着目。石油販売業界で初めてとなるITを活用したQRコード決済対応のセルフ給油POSシステムを開発し、運用を開始した。



成果

PayPayおよびLINEpayに対応
若者の新規お客様獲得に大きく貢献

新しい決済方法としてQRコード決済が日本に上陸し、ポイント還元キャンペーンなど利用促進インセンティブを打ち出して利用者が急拡大している。現状、決済端末にかかるコスト負担が少なく、取扱決済手数料が期間限定ではあるが無料。そこで決済会社各社の中から、決済手数料や決済サイト等が同社にマッチしたPayPayおよびLINEpayと取扱店契約を締結し、テスト運用を開始した。結果として、顧客の支持を肌で感じつつ若者の利用も増加している。しかしながら同社のセルフ給油POSと連動していなかったため、新セルフ給油システムの開発に乗り出した。既存の独自開発システム・リライトカードと連携させつつ、QRコードを読み取る機能(店舗読取方式)を備えるとともに、決済をスムーズに行うための液晶画面を給油操作盤に搭載した。従来のチャージ手段にコード決済を追加しているため、新規のお客様獲得に大きく貢献する結果となった。



今後の展開

従来の「速く安く快適に」に
新たな価値を加えて事業拡大

現在、QRコード決済に対応したセルフ給油POSはガスタ下津店のみ。今後、決済会社のポイント還元や取扱店手数料などの動向を見ながら、下津店の売上予測と全店新システム導入を見込んだ販売計画を作成した。同社のコンセプトである「速く安く快適に」に沿って、お客様にキャッシュレス化の利便性やメリットを提供しつつ、新規顧客の拡大を目指す。またITを活用し、業務の省力化および効率化を図った上で、既存社員の給与アップ、新規雇用にも繋げていきたい。

会社概要

会社名	株式会社石橋
代表者	代表取締役 石橋 幸四郎
所在地	和歌山県日高郡印南町印南1741-1
資本金	1,000万円
従業員数	20名
業種	ガソリンスタンドの経営、ガスエネルギー・各種石油系燃料の販売ほか
設立年月日	昭和36年
TEL	0738-42-0023
FAX	0738-42-0219
E-MAIL	info@1484c.com
URL	https://www.1484c.com

平成30年度 株式会社カナセ

高機能・高品位アクリルボタンの製造



会社紹介

ボタンとアクリルシート、2つの事業分野を軸に次代が求める新しい価値を創造しつつ社会に貢献



取締役 平山 英人

大正8年(1919年)、貝ボタンの製造を目的に創業した「株式会社カナセ」。以来、約1世紀にわたりプラスチック樹脂ボタンの製造・開発など、時代のニーズやファッション・トレンドを先取りした新しい素材の開発と画期的な加工技術の導入に取り組んできた。また「夢のプラスチック」と呼ばれるアクリルシートの成長事業が加わり、永続的な企業発展に向けて邁進している。いずれも限られたニッチ分野ながら、ボタン業界では「IVORY ELEPHANT」の商標を掲げてグローバルに活躍。アクリルシートでは「カナセライト」のブランドを持ち、それぞれの業界で最高の品質と技術を誇り、国内外から高く評価されている。革新的な技術力と独創的な製品提供を通じて同社が目指すものは、企業としての社会的責任を強く自覚し、新たな成長を遂げること。産業社会の一員であり、常に社会に貢献し続ける企業として、次代が求める新しい価値を創造している。

補助事業

高機能・高品位アクリルボタン 収益事業として目指す安定品質

現在、ボタン市場は素材としてポリエステルが主流であり、同社においてもポリエステルボタンをメイン商材として製造している。しかしポリエステルは耐候性が低く、時間経過に伴い黄色く変色してしまい、縫製工場ではボタンの黄変で在庫ボタンが廃棄されることや、衣服が長期間使用できないといった問題があった。またデザイン面においても差別化を図ることが難しく、より高品位なデザインを有するボタンが市場から求められている。こうした背景の中、ボタン事業の独自性確保と市場ニーズに対応するために「高機能・高品位アクリルボタン」の開発に着手。高い耐熱性と耐溶剤性を有するアクリルボタンの品質を安定させつつ、量産するための取り組みが始まった。



成果

圧倒的な光沢と透明感で美しさキープ 生産効率と品質の向上で市場投入も…

アクリルボタンの魅力は圧倒的な光沢と透明感。黄変も劣化もなく美しさをキープし続ける。ただ従来の手作業では、品質安定にも限界があり、生産効率も低いという課題があった。今回、導入した機械設備の円筒内部は、波状仕様に凹凸があるため、従来のボトルネックとなっていた手作業でポリエステル樹脂を流し込み凹凸を作る工程が不要となった。手作業の工程ではどうしても品質にバラツキが生じていたが、その工程自体がなくなったことにより、生産効率と品質の向上という成果が得られた。生産量の見込みとして従来は50万個/月であったのが、300万個/月まで増加する見込みがたった。これによりアクリルボタンを市場投入するために必要な生産量が確保できた。ただ安定収益製品への推進が期待される中、現在新型コロナの影響を受けて市場が停滞した。随時状況を判断しながら、コロナ後の始動に向けて準備を行っている。



今後の展開

既存顧客から海外アパレルまで エコ商材としても注目を集める

現在、同事業の成果が寄与できる市場は3つ。1つ目は既存のポリエステルボタンからアクリルボタンへの切り替え。既存顧客への評価も高く検討段階に進んでいる。2つ目は貝ボタン等の天然素材からの切り替え。貝ボタンは高価なためコストダウンを提供でき、デザイン性も高いことから高級シャツブランド等の注目を集めている。3つ目はエコ商材としての採用。焼却の際に有毒ガスを出さないことから、特にエコへの関心が高い海外アパレルから声が掛かっている。

会社概要

会社名	株式会社カナセ
代表者	代表取締役社長 金谷 清道
所在地	和歌山県田辺市稲成町204-1
資本金	4,200万円
従業員数	183名
業種	ボタン事業、アクリル事業
設立年月日	大正8年創業
TEL	0739-22-7651
FAX	0739-22-7654
URL	https://www.kanase.co.jp

平成
30年度

オーアイテック株式会社

精密高速圧造機による低コストの実現と高精度製品の供給の実現



会社紹介

綿密で高度な金型設計技術と加工技術で
自動車や家電・弱電用の各種パーツを製造

常務取締役 岡井 健

平成19年の設立以来、冷間圧造による金属製品製造業を営む。綿密で高度な金型設計技術と加工技術に加えて、鉄、アルミニウム、ステンレス、銅など素材に関する豊富なノウハウを持ち合わせていることから、顧客の幅広いニーズに対応している。主な受注製品は、特殊ボルトや精密ナットなどの小型部品で、自動車用部品（ハーネス、エンジン関連、シート関連等の部品）が売上比率で約80%を占めている。なお、自動車用部品は人命に関わるため、高い信頼性が求められる。全数検査による不良ゼロ出荷（Zero Defect）が義務付けられている。家電弱電用の部品（エアコン室外機、OA機器の部品）や、汎用のJIS規格のキャップスクリーの製造も手掛ける。自動車部品の受注増に対応すべく、効率的な製造ラインを構築し、製造体制を強化するために、大阪南部にあった3工場を、30年に現所在地である北勢田第2工業団地（紀の川市）に集約移転した。

補助事業

自動車用部品のナット系製品の
加工精度と生産速度の向上

近年、部品の軽量化の流れにより、金属製から樹脂製に切り替わる自動車用部品が増えている。同社でも樹脂部品へのインサートナット系製品について顧客から打診を受けることが増え、インサート成形時の樹脂漏れがないように高精度な加工が求められた。当該製品において、公差±0.05mmまたはCpk1.67の加工を実現するには、パンチ・ダイの段数が6段以上のナットパーツフォーマーが必要だが、対応する機械がなく、失注金額は1,000万円/月相当にも上った。

最新の機械である6段パーツフォーマーを使えば、加工精度と生産速度が同時に向上し、低コストでの供給が可能になる。技術者の育成にもつながるため、導入を決めた。



成果

製造個数が月に150万個から260万個へ
低コストの供給で受注されやすい体制に

6段の高速ナットパーツフォーマーの導入により、6工程の予備成形が可能となり、切削加工なしで高精度のナット製品が製造できるようになった。また、短ストロークによる力の作用時の型の位置ずれが小さいため加工精度が上がり、高速回転による加工速度の向上（回転数=250~300/分）が功を成し、製造個数が月に150万個だったのが260万個と劇的に増えた。以上のことから、低コストでの供給が可能となり、受注されやすい体制を整えられた。また、商談中の仕事の獲得や失注していた1,000万円相当の売り上げ増につながる可能性も出てきた。

同機はナット形状に特化した最新のものなので、操作しやすいことも特徴だ。初級者から上級者まで幅広く指導しやすい構造であるため、社内でナット系の製品に強い技術者のレベル向上にもつながっている。



今後の展開

多方面から万全に取り組み
積極的な営業活動を展開

前述の成果を基に、同社のナット系製品は価格的にも性能的にも優位性を十分に期待できることから、品質管理体制の適正化後に、経営層および営業担当による積極的な営業活動を行う。そのためには、必要であれば新規に検査機械を導入して顧客にアピールしたり、ナット系製品に特化したチームを設立して技術向上に励んだり、人材を増やしたりするなどして、多方面から事業化に取り組み、売上高のさらなる増加に挑みたいと考えている。

会社概要

会社名	オーアイテック株式会社
代表者	代表取締役 岡井 康治
所在地	和歌山県紀の川市北勢田726-15
資本金	9,800万円
従業員数	53名
業種	金属製品製造業
設立年月日	平成19年5月
TEL	0736-67-8686
FAX	0736-67-8685
URL	http://oitech.co.jp/

平成
30年度

株式会社大和パッケージ

生産性と印刷品質が向上する本紙校正用印刷機の導入による事業拡大



会社紹介

あらゆる業種の「包み」を通して生活を便利に楽しく
最適な商品の企画・製作をアイデアとワンストップで実現

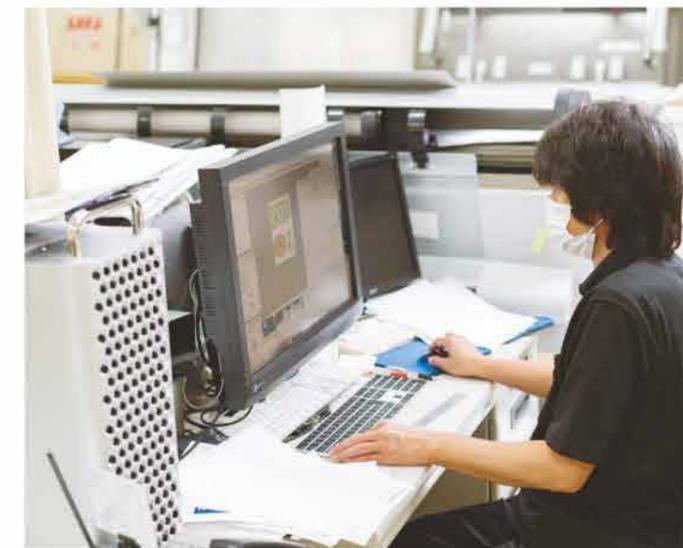
代表取締役 明楽 吉雄

包装資材の創造をベースにあらゆる業種の「包み」に携わる「株式会社大和パッケージ」。包装資材の専門印刷業として、長年にわたり培った経験とスキルを生かし、商品パッケージや化粧箱、シールやラベル、包装紙、紙袋、OP・CP等のグラビア印刷のほか、カタログやリーフレット、チラシなどを手掛けている。基本理念は「デザインからパッケージまで」。商品企画の段階から製作に加わり、パッケージのデザインに至るまでより良いアイデアを提案しながら、お客様のニーズに応える。さらに、常に更新した自社工場による高品質印刷と加工設備ラインをバックグラウンドに、印刷品質の一貫性とお客様の満足度を追求。商品の差別化や予算、特殊形状や素材など、どんな要望にもパッケージとデザインのプロが相談に応じながら、通常の会社ではできないアイデアやフォローを提供しつつ、ワンストップで最適な商品の企画・製作を実現して形にする。

補助事業

本紙校正用印刷機の導入で
質感や色味の再現率が向上

今まで、新規顧客開拓のための提案用パッケージサンプルや従来のお客様用パッケージデザインの確認に、主として簡易インクジェットプリンターを使用。そもそも本番とは違う出力紙、インク、印刷方法を用いるため仕上がりとは異なり、またサンプル作成も印刷したものを本紙に糊付けして成形していたため時間とコストがかかり、生産面と営業面において問題となっていた。そこで今回、これらの問題を解決する本紙校正用印刷機を導入。実際に印刷するものと同じ紙、同じインクを使用するため、色味や質感を重要視する印刷物の確認には不可欠であり、校正の段階でほぼ確実な色味を再現することが可能になったことから、お客様への説明がスムーズになり、確認が取りやすくなった。



成果

校正の品質精度が格段にアップ
短納期で低コストな色校正が実現

本紙校正用印刷機の導入により、本番のオフセット印刷機と同程度の品質のサンプルが仕上げられるようになったため、簡易校正の品質精度が格段に上がった。優れたカラーマッチングで、風合いや質感も再現。従来行っていたサンプル作成の糊付け作業もなく、さらに本機校正のためのスケジュール調整も必要ないことから、工程が大幅に短縮でき、短納期で低コストな色校正が可能となった。これにより、十分な時間を取って顧客と接触・コミュニケーションを取ることができ、同社の強みである地域密着型の営業スタイルを強化できた。また業界関連の情報を収集し、顧客動向を的確に把握することで、お客様に最適なタイミングでベストな提案を継続していく体制を構築。品質の向上や営業強化だけではなく、材料コストや人件費の削減、生産リードタイムの短縮と得られた成果は、顧客満足度の向上や受注機会の損失防止、残業時間の短縮等にもつながっている。



今後の展開

販売を促進させる企画と包装
次世代の印刷業を目指して

現状、本紙校正用印刷機の導入は和歌山でも初であり、全国的にも少数である。新設備を導入することで同業他社との差別化を図り、同社の強みである顧客対応力・提案力をさらに強化して、優位な状況を継続していく。また商品を企画し、包装を創り、販売を促進させる次代の印刷業を目指して、新たなオリジナル商品の開発にも着手した。培った知識や発想力、人脈、販売ルート等を既存のお客様に還元しつつ、新商品を会社の競争力や総合力を高めていく。

会社概要

会社名	株式会社大和パッケージ
代表者	代表取締役 明楽 吉雄
所在地	和歌山県和歌山市冬野1359-3
資本金	5,000万円
従業員数	30名
業種	箱、シール・ラベル、包装紙・紙袋等の包装資材専門印刷業
設立年月日	昭和39年7月
TEL	073-479-1145
FAX	073-479-2110
E-MAIL	daiwa@ppdaiwa.co.jp
URL	https://www.ppdaiwa.co.jp

平成
30年度

株式会社久保製作所

「全天候型（濡れないムレない）レインウェア」製造の自動縫製ライン開発プロジェクト



会社紹介

熟練工の手仕事による丁寧な“ものづくり”
活路を見出す全天候型レインウェアの開発・製造に着手



和歌山県海草郡紀美野町で雨衣の製造専門メーカーとして昭和38年に創業した「株式会社久保製作所」。60年近く雨衣ひとすじで、熟練工の手仕事による丁寧な“ものづくり”にこだわってきた。中でも評価されているのが、水産業に欠かせない雨合羽。生地と生地を溶着加工による高防水性プロ漁師向けの雨合羽で、同社の主力商品。北は北海道から南は沖縄まで、日々厳しい自然と闘っているプロの漁師の皆様へ愛用いただいている。しかし近年、水産業は高齢化も進み縮小傾向。雨衣業界も、海外での生産による低価格傾向という市場背景があり、さらに高度なものづくりに不可欠な縫製技術を支える熟練作業者の高齢化も進み、厳しい状況となった。今後生き残っていくためにも、強みである独自の縫製技術を生かしつつ、新たな販路を見出す必要があり、全天候型レインウェアの開発・製造に乗り出した。

代表取締役社長 久保 真由巳

補助事業

ビジネススーツにすぐ様変わり！ 2WAY レインウェア「スグサマ」

防水なのにムレずに快適、レインウェアがまるでビジネススーツにすぐ様変わる2WAYレインウェア。それが全天候型レインウェア「スグサマ」である。完全防水製品のみを製造してきた同社にとって画期的な取り組みだが、強みである溶着加工による高防水性能を保つ技術は変わらない。ただ主力である水産合羽の製造に加え、新製品を製造するためには、現行の縫製作業工程「ヒートシラーによるパーツ生地仮止め」と「高周波ウェルダーによるパーツ生地溶着」を見直して効率化し、品質を保ちながら生産性を高める必要があった。そこで今回、「熱融着装置」を企画・開発した。同装置を組み込んだ「自動縫製ライン」を導入したことで、課題を解決する効率の良い一連(ライン)での自動製造が可能となった。

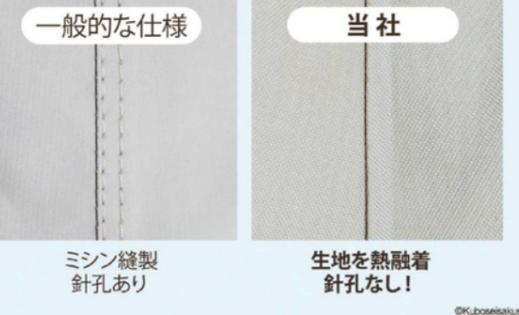


成果

革新的な生産システムの構築で 効率アップとコストダウンを同時追求

縫製作業工程を見直し、効率の良い工程順に連携することで実現した自動縫製ライン。生地を移動台にセット、マシン縫製による仮縫い。続いてヒートシラーによる仮止め後、新導入の熱融着装置で生地融着。この自動ラインの導入で、人も作業時間もこれまでの半分程度と効率化を実現できた。また縫製工程を自動化したことで、熟練作業員・一般作業員に関わらず一定の品質をキープ。安定した縫製工程が可能となるため、短納期化も図れた。成果としては、縫製作業工程の効率化にはじまり、品質と生産の安定、短納期化、コストダウン、さらに熟練作業員への技術依存の軽減と、さまざまな問題を解決。効率アップとコストダウンを実現するこの革新的な生産システムにより、事業化が大きく前進した。

レインウェア表面



今後の展開

頑張るビジネスマンを応援 独自ルートで販路拡大

熱融着装置と自動ラインの開発導入により、作業効率・品質の安定などの環境がようやく整ったので、これまでの水産合羽以外に「スグサマ」をはじめとし、さまざまな全天候型レインウェアを製品化し、同社独自ルートによる販路拡大を図りたいと考えている。

会社概要

会社名	株式会社久保製作所
代表者	代表取締役社長 久保 真由巳
所在地	和歌山県海草郡紀美野町小畑83-1
資本金	3,500万円
従業員数	35名
業種	雨衣製造販売、環境衛生機器製造販売
設立年月日	昭和50年1月4日(創業昭和38年1月)
TEL	073-489-2617
FAX	073-489-4706
E-MAIL	mail@kuboseisakusyo.co.jp
URL	https://kuboseisakusyo.co.jp

平成25年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載P
1	株式会社スミロン	幼保育園、ユニット型老人施設・等で発生する使用済み紙おむつ処理機の開発	
2	ニッテイト株式会社	新基幹システム導入による生産管理プロセス強化・業務改善事業	
3	ヨシダエルシス株式会社	ハイブリッドベンダー導入による「ワンストップ型ソリューション」の強化	
4	小西化学工業株式会社	機能性スルホン化ポリマーの用途展開	
5	中野BC株式会社	生体親和性向上のための材料複合技術を用いた梅エキス粒状製品の開発	
6	太洋工業株式会社	3次元CAD導入による設計の効率化及びコストダウン	
7	株式会社山東鐵工所	ガラス繊維用ガス毛焼機の高火力化開発	
8	大洋鑄造株式会社	高性能混練機導入による鑄物砂の品質管理と生成職場の無人化	
9	株式会社ホタニ	製造工程IT化のための初期投資事業	
10	ブラックウッドジャパンコーポレーション	「ドッグフード選別・袋詰設備」導入による「付加価値」及び「販売量」の向上	
11	南海スチール株式会社	鉄筋製造システム自動供給装置付複合設備の導入	
12	寺本紙器株式会社	小ロット、低価格かつ美観なパッケージの提供と紙製家具製造への進出	
13	株式会社アイスティサイエンス	代謝物解析による全体把握のための代謝物用自動前処理装置の開発	
14	株式会社河北食品	安心・安全な弁当及び給食の供給力増強による地域社会へ貢献	
15	柏木鉄工株式会社	製鉄所連続鑄造設備大型化対応設備（クレーン）導入	
16	有限会社坂部ブラシ	ブラシ毛の植毛に最適なブラシ台の製造を図る事業	
17	アドバン工業株式会社	「ナノ加工の世界で見せる日本のものづくりの底力」	
18	株式会社小川製作所	『ITによる多品種少量・少品種大量生産を可能にするオールラウンド型経営の実現化計画』	
19	株式会社北浦	「匠の技とNC加工機のマッチングによる、伝統の継承と更なる進化」	P6
20	有限会社丸之内マシーナリ	円筒内面の3次元面取り寸法測定装置の開発による定番商品化事業	
21	正和産業株式会社	PTFE樹脂製シール部品加工用NC旋盤導入による樹脂部門の売上拡大計画	
22	株式会社ユー・イー・エス	ナノ粒子ヤシガラ活性炭の研究及び試作開発	
23	斎藤ドラム罐工業株式会社	最新型ヘリウムリークテスター導入によるドラム缶完成品の最終検査高精度化計画	
24	米阪パイル織物株式会社	パイル織物技術を活用した 通年型寝具生地の意匠開発	
25	株式会社興栄ケミカル工業所	マット裁断加工技術の高効率化・高精度化による販路拡大及び事業の拡大	
26	大和歯車製作株式会社	高効率冷凍機用の端面ポリゴン研削加工による付加価値向上事業	
27	株式会社フタバ	自動へみ縫製機等によるタオル縫製加工の作業集約計画	
28	福原ニードル株式会社	高周波焼入装置の増設による高付加価値製品への転換促進	
29	株式会社赤井工作所	油圧式サーボ・下降プレスプレーキによる特注品の短納期・多品種・小ロット化への実現	
30	日吉染業株式会社	捺染糊に含まれる揮発性有機化合物の再利用と着色排水の低減	P8
31	新田建築板金店	メッキ鋼板加工の高精度化を目指した折り曲げ機導入	
32	株式会社小林商事	高度化する鉄鋳物業への安心安全な材料の提供を目的とした各種分析装置の導入	
33	有限会社協同カッター工業	「ウォーターリサイクル工法」設備の増設による環境問題への対応と受注の拡大	
34	尾崎産業株式会社	製造プロセスの再構築と開発力促進・販路拡大と雇用拡大の実現	
35	雑賀製作所	搬送用ステンレスタンク生産の内製化による低コスト化・短納期化事業	
36	モリックス精工株式会社	精密切削加工における生産性向上計画	
37	株式会社泉鉄工所	鉄構用ショットプラストマシン導入による、鉄骨摩擦処理面の高品質化事業	
38	株式会社丸昌	新基幹システム構築によるグローバル拠点の生産性効率化と営業力強化事業	
39	株式会社蒲田	取引先要望対応と弊社技術のフル活用を可能にする倉庫から第二工場への転用	
40	株式会社世界一統	國酒清酒ブランド「南方」を世界へ向けた蔵設備計画	
41	株式会社寿精密	リチウムイオン電池部品の新形状に対応する生産プロセス強化	
42	株式会社三見精密	新仕上げシステム導入における金型部品の生産能力の改善と、さらなる精度向上	
43	日建産業株式会社	鋼管外面ショットプラストマシン導入	
44	株式会社平木米穀店	小ロット対応可能な無洗米仕上による精米付加価値向上事業	
45	阪和工業株式会社	塩化亜鉛結晶化設備の増設および海外販売計画	
46	有限会社横田工作所	ショットプラスト装置の導入による生産性と品質の向上及び作業環境の改善	
47	有限会社ピー・オー・テック	CAD・CAMを用いた、足部製作の3次元足型自動測定・切削機器の導入	
48	東洋機械加工株式会社	硬度試験片粗切削加工の自動化による短納期化およびコスト合理化	
49	株式会社尾高工作所	YAGレーザ溶接機導入による高品質化、低コスト化、高生産性化事業	
50	株式会社坂口製作所	生産性に優れたアルミ抵抗溶接プロセスの開発	
51	株式会社土井シャーリング	レーザー加工精度向上による銅板の高精度化・量産化・低コスト化	
52	ヒカリ技研株式会社	金属部品加工径の大口径化を図り外注加工の内製化を実現する設備投資計画	
53	川口建設株式会社	間伐材を活用した燃料チップ等の生産設備改善による品質・生産性の向上	
54	有限会社紀陽製作所	復興関連事業に特殊車両関連部品及び東京オリンピック関連のインフラ整備関連部品受注増加による生産性向上と海外調達に対抗するコスト競争力の強化	
55	株式会社イワハシ	精密プラスチック部品加工技術向上と設備導入	
56	株式会社オプラス	配車管理システム導入による輸配送業務の効率化	
57	株式会社興和製作所	CNCドリルマシン導入による生産工程の改善と短納期化	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載P
58	白光印刷株式会社	ユニバーサルデザインで新市場を開拓する「人にやさしい本」の試作開発	
59	ル・パティシエ ミキ	わかやま土産（地域生産物を活用した焼き菓子）の製造販売と開発	
60	出口歯車工業株式会社	「鋼製ご杵」溶接作業のロボット化による生産工程の改善	
61	原田織物株式会社	生産プロセスの改善により革新的な生産効率の向上と良品質商材の追求計画	
62	株式会社大輝製作所	曲げ工程改善による多品種少量対応と生産量・受注量拡大事業	
63	有限会社ハヤシ精機	測定計測装置の高能力化による新規受注拡大事業	
64	株式会社三宅鐵工建設	H形鋼一次加工の内製化による品質・生産性の向上事業	
65	株式会社笠原	ICTを活用した、時と場所を選ばない「移動出張所システム」の構築	
66	桜井鉄工株式会社	ネジ切り加工用マシニングセンタ導入による市場競争力強化	
67	天王醸造株式会社	醤油の古式製造法復元による原料処理からの一括生産	
68	紀和化学工業株式会社	インクジェットインクに使用する染料の生産性向上	
69	北村鉄工株式会社	最新型鉄骨用溶接ロボット導入による生産力向上	
70	平和酒造株式会社	ビール醸造製造技術に応用した発泡性ゆず酒の製造技術開発	
71	妙中パイル織物株式会社	超音波ドライクリナーによる高精細液晶パネル用ラビングクロス製造ラインの改良	
72	株式会社フジ設計	BIM活用で建築設計の可視化を行い品質向上と顧客満足度を構築	
73	笠野興産株式会社	医薬品包装ケースのGS1-128コード・印字・封緘を画像処理機にて検査・排出する装置導入	
74	西川食品株式会社	冷凍食品（冷凍米飯・オムライス）の生産、安全、品質向上にかかる設備導入計画	
75	株式会社高蒲谷	省スペース型コア・仕口兼用溶接ロボット導入及び溶接ロボット設置に伴う受電設備増設計画	
76	株式会社インテリックス	オーダーカーテン品質向上、短納期生産のための新型縫製装置導入計画	
77	株式会社平山	紀州産 間伐材等を、Made In Japan Only Oneの工業製品に仕上げ、海外販売の拡大を計る	
78	大谷産業株式会社	機械導入による家具部材加工の生産能力・安全対策強化事業	
79	株式会社フォーラル	衣装カバー（ティッシュ式収納袋入り）の製造工程自動化による生産性向上	
80	株式会社貴重工業	世界初の新型植針機の開発と量産を実現させるマシニングセンタの導入	
81	株式会社木下染工場	コスト競争力強化の為に高効率ボイラー導入事業	
82	高木彫刻株式会社	精密コーティング用ロール製造のための精密加工技術の確立	
83	菱岡工業株式会社	板金加工の高速・高機能・工程短縮・高精度化及び新分野拡大事業	
84	高垣酒造株式会社	低温管理技術による高付加価値商品の開発	P10
85	株式会社平家製作所	C-FRPシャフトの精密加工技術の確立	
86	株式会社小久保工業所	プラスチック成型での文具等収納関係の商品のシリーズ化のための金型事業	
87	扶桑鍍金株式会社	微細な表面変位の詳細把握によるメッキ処理工程の効率化と品質管理の向上	
88	株式会社ふみこ農園	摘果した和歌山県産「桃（青桃）」のコンポートを作るための前処理方法	
89	株式会社マルセ工機	最新型マシニングセンターによる繊維機械用部品精密加工の競争力強化事業	
90	株式会社大和化学工業所	既存技術と最新技術の最強コラボレーション	
91	株式会社サンメイト	真空スチームセット機導入による、園児用プリーツスカートの品質向上と生産効率改善の実現	
92	アイエムティー株式会社	試料研磨事業における装置類の軽量化及びオリジナル消耗材の開発	
93	株式会社Y's エンジニア	チャック部品製作過程における、マイクロクラック削減事業	
94	株式会社原組	ソーラエネルギーを付設した植物工場環境システムの構築	
95	株式会社シガ木工	製作コスト削減と材料廃棄率低減による桐製家具の開発	
96	株式会社トルネ	3Dプリンタ導入によるプラスチック製品開発スピード向上と高付加価値化計画	
97	サンキュー化成株式会社	ハイブリッド式射出成形機導入による木質樹脂製品の生産量増加、低コスト化計画	
98	大洋化学株式会社	自社分析の導入による再生プラスチックの高品質化・短納期化事業	
99	有限会社スリー・エフ・シー・デンタルラボ	歯科用CAD/CAMシステムを用いた保険歯科技工物全般の高度化と効率化	
100	株式会社朝間商会	ハイブリッド工法を可能にする「スリット・ボーリング加工機」の設備投資	
101	株式会社ヤエバック	品質の一定化・効率化のためのプラストマシン及び集塵機導入計画	
102	ナロック株式会社	大型高速ストランダーの開発	
103	株式会社西岡酒店	在庫・販売プロセス強化と顧客サービス向上の為に業務改革事業	
104	中井産業株式会社	建具業界における受注下請型から企画提案型への業態変革のための設備投資	
105	株式会社アセロラフーズ	新型セル生産機を導入による品質と生産性の向上、新しい販路の開拓	
106	株式会社和歌山印刷所	伝票製造における制作、校正など川上工程のシステム化による製造工程の最適化	
107	サイキヤニング株式会社	液体原料の高品質受入システム開発・導入による新形態での飲料受託開拓	
108	株式会社Citrus	食品乾燥機を用いた無添加ドライフルーツ・ドライベジタブルの製造	
109	株式会社日本化学工業所	紙用液体直接性染料の生産効率改善のための工場集約化、および増産体制の確立	
110	井手印刷株式会社	次世代印刷物となるIT技術と連携した「動画と連動するAR印刷」の創造計画	
111	ナギサビール株式会社	酸化を防ぐ自動瓶詰ライン導入による品質向上	
112	築野食品工業株式会社	新型高効率冷凍機更新による節電推進（CO2削減～地球温暖化防止）	
113	三木理研工業株式会社	キャニスター用潜熱蓄熱マイクロカプセルの性能向上計画	
114	中田食品株式会社	和歌山県産果汁を使用したスパークリング梅酒の開発と製造ラインの構築	
115	成和技研株式会社	最新鋭加工設備導入による生産性及び品質向上計画	
116	セイカ株式会社	新規高機能樹脂を指向した高純度芳香族ジアミンの開発	
117	株式会社河鶴	新製法国産たくあんの投入・開発による、新商品の市場化・惣菜へのチャレンジ	
118	株式会社アグリック和歌山	業界初！紀州南高梅を使用した種抜き梅の自動新規製造ライン構築	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
119	金剛ダイス工業株式会社	砥粒流動加工を用いた小径異形穴冷間鍛造金型の高精度化	
120	株式会社粉河	作業効率改善による増産体制構築に向けた設備投資計画	
121	藏野製材株式会社	輸出用梱包材の製造工程改善に係る設備投資による生産能力拡大計画	
122	株式会社熊野酸素	プレスブレイキ機械の導入による顧客要望への対応と新規受注の獲得	
123	花野食品	摘果（廃棄）青みかんを活用したリキュールの量産化とオイルの抽出	
124	国土建設株式会社	自社廃棄物を高品質木質ブリケットに再生することによる循環型社会への貢献	
125	有限会社アート工業	広告看板製作に3次元CADシステムを導入し、短納期化・複雑形状への対応を図る	
126	西岡総合印刷株式会社	1冊から当日注文出荷が可能なオンデマンド印刷、出版サービスの開発	
127	株式会社日本ハイパイル	大手通販会社向け長毛カーベットの新規開発及び生産販売。	
128	株式会社メイワ	冷凍空調機用圧力容器溶接ロボットシステム装置導入による生産合理化計画	
129	アクロナイエン株式会社	電動サーボダイカストマシン導入による、ダイカスト部品の品質向上計画	
130	株式会社保田鉄工所	CFRP成形金型関連設備導入による、航空・宇宙産業分野事業拡大計画	
131	南海鐵工株式会社	酸洗処理（磨棒鋼業界の製造工程）に代る研磨装置の開発	
132	有限会社みなべの梅農産組合	梅酢を原料にした脱塩梅酢果汁、梅塩の生産ラインの拡大	
133	田辺港輸入木材協同組合	県内特産果実の加工時に出る廃棄物の発酵堆肥化リサイクルの効率化事業	
134	株式会社マキカンパニー	【MADE IN JAPAN】生産力・価格競争力への挑戦	
135	有限会社島本化繊起毛工場	起毛時にマイクロスコープを駆使した軽くて柔らかい保温性のある高品質な寝具の開発	P12
136	テラモト株式会社	競争力を付与された、新規ぬいぐるみの製造法の開発	
137	株式会社共栄テック	部品生産の効率化及び作業環境改善のための5軸制御縦型マシニングセンター導入計画	
138	五二化学工業株式会社	新規冷却プロセスの導入による生産効率の向上	
139	新中村化学工業株式会社	シアロ糖鎖類縁体の効率的な製造方法の開発計画	
140	竹島鉄工建設株式会社	計画的生産性向上の為に自社独自開発の溶接ロボットを導入	
141	株式会社ヨシムラファーム	乾燥及び貯蔵設備の導入によるにんにくの周年出荷事業	
142	有限会社富光モータース	高度診断機活用による整備箇所の迅速な対応と整備内容のデータ化による顧客満足度向上事業	
143	株式会社菱丸商会	コア連結溶接ロボット導入による、生産力向上及び作業環境の改善	
144	松屋電工株式会社	木工CNCマシニングセンタ導入による新製品開発と既存製品の生産性向上。	
145	宮本歯研	最新設備の導入による補綴物等の製作時間の短縮と精度の向上	
146	有限会社NAO企画	3Dレーザースキャナを活用した効率的で高精度な測量計測技術への展開事業	
147	菅野織物株式会社	新型ハーネス機導入による織効率・製品品質の向上	
148	カドヤ株式会社	受注生産方式シート貼木製建具枠後加工工程強化事業	
149	株式会社平岡鉄工所	ショットプラスト装置の導入効果（品質向上・生産性向上）による県外受注の拡大計画	
150	株式会社テクニカルセンター和歌山	歯科用CAD/CAM装置を用いた保険歯科補綴物の製作、及び歯科技工所連携の構築。	
151	株式会社ツネダ	市場の多様化に対応する生産体制強化事業	
152	株式会社中原製作所	高機能新設備導入による競争力向上	
153	野口工機株式会社	高温の環境下に於いて硬度の低下しない耐摩耗性に優れたためつき浴の開発	
154	中家青果	果物形選別装置、処理能力高速化、高精度化事業	

平成26年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	和歌山染工株式会社	市場ニーズにあったデザインの短期間での開発・販売	
2	おざぎのひもの	小型魚体高速選別機による高鮮度干物での新規商品開発と販路開拓	
3	匠技研株式会社	世界一の高速・高精度ハムスライス機械の開発	
4	有限会社田辺食品工業所	食品製造現場への最新機器導入による製造環境の改善と生産強化	
5	日吉染業株式会社	ロータリースクリーン捺染におけるスクリーンの製版設備に関するシステムの構築	
6	株式会社坂口製作所 和歌山工場	高精度なベンダーの活用による板金加工品の海外競争力強化	P16
7	株式会社ウイング	ロータリーダイカットシステム導入による競争力強化/新ビジネスモデル強化	
8	株式会社シガ木工	画像提案と立体加工を取り入れた桐材の極限活用による新製品の開発	
9	ワコー株式会社	ホットプレス機導入による商品力強化及び高付加価値新製品開発事業	
10	株式会社第一製版印刷	レーザー加工で美しく繊細な意匠をあしらった印刷物の制作及びネットによる販売の展開	
11	株式会社テクモ	自動車向け特殊形状ねじ金型の高精度加工技術の確立	
12	株式会社一条	AR（拡張現実）技術を搭載した結婚招待状のWEBオーダーサービスの確立と全国展開	
13	株式会社吉村秀雄商店	清酒製造における洗米、蒸米、放冷新設備導入による技術の高度化、品質向上と省力化	
14	小西化学工業株式会社	炭素繊維複合材料向け低粘度エポキシ樹脂の開発	
15	株式会社インテリックス	高付加価値設備導入によるオーダーカーテン新規顧客層への展開	
16	株式会社早和果樹園	有田みかん加工品、高品質化による海外販路開拓プロジェクト	
17	株式会社土井シャーリング	高性能ドリルマシン導入によるスプライスプレートの量産化事業	
18	南海合織株式会社	海外市場を見据えた新しいウェットスーツ素材の編成技術の導入	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
19	株式会社ホロン精工	ニット編み機用ゴムローラ部品外観検査のIT化による品質向上・低コスト化計画	
20	大和歯車製作株式会社	次世代航空機向け補助動力装置（APU）用部品の加工技術開発事業	
21	和興産株式会社	特許ハニカムを活用した高強度、高耐熱、軽量な断熱パネルの安定的量産設備の事業化	
22	熊野の里株式会社	梅に新たな加工を施し新しい商品に蘇らせる事業。『漬け物からスイーツへ』	
23	株式会社井上	業界初の品質管理体制の構築による化粧用品の受注増加計画	
24	株式会社データ技研	高精度、迅速な3D測量設計技術の活用による災害対策への貢献	
25	株式会社世界一統	和歌山県産果実使用のプレミアム（自然派）リキュール商品開発	
26	平和酒造株式会社	高品質な吟醸酒向けに原料処理設備導入による製造環境整備	
27	有限会社ハヤシ・シザース	多種多様品のニーズに対応するためのNC研削機導入による内製化	
28	株式会社ヒラニット	自動裁断機とCADシステムを活用した婦人服の生産性向上とデザイン提案の強化	
29	萩原メリヤス株式会社	オリジナリティに優れたニット生地の開発、設備導入と顧客満足度向上	
30	中田食品株式会社	コンビニエンス向け新規梅干商品開発と製造ラインの構築	
31	ウインナック株式会社	リニアモーター駆動方式を採用した放電加工機の追加導入による加工精度向上と生産能力増強計画	
32	ヒカリ技研株式会社	五面マシニングセンター導入での製造工程の改善による生産プロセス革新事業	
33	株式会社マージネット	ワン・ストップ対応強化によるタイムリーなDM発送体制の確立	
34	株式会社アイスティサイエンス	特定の目的物質の吸着・抽出機能を有した固相抽出剤の試作品の開発	
35	株式会社友進	和歌山発 プロ輩出『24時間営業 本格的レコーディングスタジオ』の提供	
36	ユタカ工作株式会社	迅速安全な取替えを実現する「ベルトコンベアーのベルト巻取車」の導入	
37	株式会社山利	老舗しらす屋、オーガーマイド設計の『新型自動釜』導入による事業展開	
38	富士香料化工株式会社	製品開発力の強化と迅速化計画	
39	有限会社服部鋳金塗装	最新設備を取り入れた自動車鋳金技術サービスと自動車塗装システム	
40	株式会社Southwind	プレス金型/樹脂金型の更なる高速加工・高精度加工の確立	
41	アイエスプリンクラー株式会社	作動弁型流水検知装置の試作開発	
42	株式会社新宮看板広告	NCルーターとインクジェットプリンタ導入による顧客ニーズへの対応	
43	有限会社隆文社印刷所	AR技術を活用した看板の製作による新たな広告媒体の提案	
44	株式会社豊工業所	多機能ドリルマシンによる品質向上と連続加工による短納期化	
45	稗田化学工業株式会社	新素材（球状シリカ複合エポキシ樹脂）投射材の開発と販促プロジェクト	
46	株式会社小松原	ロールベンダー及びベンディングマシンを用いた高品質・低コストの生産システムの確立	
47	尾高ゴム工業株式会社	高耐久・高摩擦のセラミックとウレタンのハイブリッド材料開発	
48	4Dセンサー株式会社	1ピッチ位相解析法による高速高精度三次元形状・変形計測装置の開発	
49	出口歯車工業株式会社	鋼管圧延用工具の加工プロセス改善による生産性の向上	
50	株式会社農業総合研究所	「農家の直売所」事業でITを活用した効率的な出荷配送システムの確立	
51	株式会社スミロン	剥離促進層を持つ新規な熱剥離型粘着テープの開発	
52	協同組合ラテスト	備長炭、竹炭を原料とした医薬品向け黒色顔料インク用分散体の開発	
53	大谷塗装工場株式会社	新型乾燥機導入による作業効率改善と塗装品質向上及び環境負荷軽減	
54	株式会社西川製作所	PSA式窒素ガス発生装置の導入による生産プロセス革新計画	
55	株式会社いなみの里梅園	小袋専用包装機の導入による、製品の高付加価値化と競争力の強化	
56	株式会社坂本製作所	大型機（数値制御フライス盤）の導入による内製化計画	
57	株式会社河島本家	大根打ち抜き機・外皮（未利用資源）乾燥システムの導入	
58	株式会社丸昌	病院・施設向け寝具、患者着における市場ニーズ商品開発の迅速化	
59	株式会社オーエ	販売管理システム導入による短納期対応と顧客満足度の向上	
60	扶桑精機株式会社	試作成形の精度向上による自動車向けプラスチック金型の高品質化事業	
61	有限会社柑香園	和歌山県産フルーツを100%使用した、こだわりある加工品の生産能力向上と更なる品質向上計画	
62	株式会社吉松工機	動バランス測定の内製化による高付加価値化の実現	
63	株式会社イブファーム	安定したイノブタ生産のための飼料製造改善事業	
64	株式会社明和製作所	汚水流入防止機能付空気弁の量産体制の確立	
65	カナプレスト株式会社	NC制御マシニングセンタ導入による作業の合理化と売上増大計画	
66	阪和電子工業株式会社	新規生産ライン構築による静電気可視化モニタの市場ニーズ対応強化	
67	株式会社雑賀製作所	3D作業用クランピングテーブルシステムによる溶接品質・生産性の向上	
68	株式会社中家青果	柑橘類の光センサーを用いた、糖度、内部障害果識別による商品価値化向上計画	P18
69	有限会社井戸豊店	畳業界最高水準の寸法精度と短納期化により、競争力の強化と利益増大を図る	
70	有限会社ホンダ自販那賀	接客強化～車検点検整備の業務効率化システム構築によるお客様満足度向上計画	
71	株式会社鳥羽運送	商品別に温度管理できる大型冷凍庫にて、農産物を直接消費者に届けるシステム	
72	株式会社ヴァイオス	メタン発酵技術による漢方薬残渣・廃食品添加物の処理サービスの提供	
73	湯浅醤油有限会社	インバウンド観光誘致のための蔵見学予約システム開発と免税処理システム導入	
74	アイエムティー株式会社	顕微鏡観察用試料の作成に係る精密研磨条件の開発	
75	株式会社新栄組	緊急時対応可能な総合物流コントロールクラウド型システムの導入	
76	有限会社セ・ラ・セゾン	串本町の廃校を拠点として、特産果実を使った洋菓子の開発と串本のブランド化	
77	桜井鉄工株式会社	小型NC旋盤導入による市場競争力及び作業安全対策の強化	
78	株式会社VSフィット	過熱水蒸気処理果樹の加工設備導入による食品素材及び製品の開発	
79	紀州技研工業株式会社	UV硬化装置、並びにUV硬化インク開発	
80	株式会社平家製作所	CFRPシャフトのセンターレス精密研磨加工技術の確立と生産拡大	

平成27年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載P
81	田村産業株式会社	トップラベル付棒ネットの低価格化を実現するための生産プロセス革新事業	
82	株式会社寿精密	高度構造解析技術を活用した電池・電子部品の試作プロセスの革新	
83	株式会社メイワ	混合ガス (He+N2) 供給・回収装置及び充・回収ユニット導入による生産コスト削減 目標数値 (ガス購入量削減)・・・現状比 80%削減	
84	株式会社紀州ほそ川	種抜き機を利用した種抜き梅生産の効率化と紀州うめどり加工品等を使った新規商品の開発	
85	株式会社タニガキ建工	鉄筋挿入工の施工を効率化し、作業員の安全性向上を図る施工機械の開発	
86	新栄陸運株式会社	クラウドシステム導入による国際複合一貫輸送	
87	白光印刷株式会社	「サイドオープン型製本」工程の確立によるオンリーワン市場の開拓	
88	吉田染工株式会社	SRY横編み機を使ったオリジナル生地の開発及び販売	
89	株式会社小川製作所	最新「CNCレーザパンチプレス」導入による半導体市場への参入拡大	
90	高木彫刻株式会社	柄の繰り返しのないエンボスロール製造のための高付加価値設備 (大型スキャナー) の導入	
91	大谷産業株式会社	側板加工工程の高度化によるデザイン家具の実現	
92	株式会社紀州本庄うめよし	新型充填機導入で新商品開発し発売、既存商品の袋詰め製品の充実で販路拡大	
93	O r a l	歯科技工業界におけるアナログ技工からデジタル技工への改革、及び歯科技工所連携の構築	
94	樹谷精工株式会社	プレスブレーキの設備更新による生産性UP及び省エネ化	
95	井手印刷株式会社	平面から立体へ! 『新世代4次元印刷』への展開	
96	エクセルプリント	高温スチームバキュームプレス機導入によるプリント技術の向上	
97	有限会社紀の国食品	紀州梅を使用した新商品《梅くらげ》の機械設備導入による量産化	
98	有限会社吉村製作所	生産力向上及び環境改善を実現する省スペース型鉄骨自動溶接システム導入	
99	原田織物株式会社	高付加価値特殊縫製機導入による製造工程の革新的強化と海外市場攻略計画	
100	株式会社たにくち	デザインを重視したチョコレート製品の開発及び生産性向上	
101	新宮木造住宅協同組合	伝統工法とプレカートを融合した新しい木造住宅の提供事業	
102	有限会社慶集社	感染予防対策上の死後処置サービス「美粧衛生」の展開	
103	株式会社西沢インダストリー	ダイレクトブロー成形機導入による市場ニーズへの対応と新市場開拓	
104	株式会社中尾酸素	自動非水槽式耐圧試験機の導入によるガス容器検査事業の収益拡大	
105	モリックス精工株式会社	多面加工における品質・生産能力向上及び生産工程効率化計画	
106	有限会社下津フードサービス	低蛋白パンの製造供給による腎臓病患者のクオリティオブライフの向上	
107	株式会社ODEC	複合CNC装置による先端機器部品の多品種少量一貫生産体制の確立	
108	金剛ダイス工業株式会社	ワイヤー放電加工を使った小径異形穴金型の高精度化と生産性向上	
109	株式会社中峰農園	梅干の概念を覆す! 甘くてとろける食感のプレミアムスイーツ梅の開発	
110	大鐵工業株式会社	新型溶接ロボット導入で既存品のステンレス化、及び新製品の開発	
111	有限会社西出水産	灰干しさんま製造の工程改善による品質安定	
112	笠野興産株式会社	包装工程におけるラベルへの印字及び検査、貼付の自動化	
113	有限会社畑野化成研究所	有機EL基幹材料 (ポロン酸、ナフチルアントラセン) 製造実現のための生産体制の確立	
114	株式会社アイガット	日本初「吊り編み機によるジャガード裏毛編み生地」の生産技術の確立	
115	カネマサ莫大小 (メリヤス) 株式会社	世界初の編機開発導入によるオリジナル新素材と新しい市場の創造	
116	株式会社キントロー	塗装技術の向上及び、周辺環境への配慮した「高齢者家具」の開発	
117	まち会DREAM HASHIMOTO 株式会社	フリーズドライおよび真空包装技術を活用した海外市場開拓を目的とした「フリカケぼん酢」の開発	
118	タイミングブリー・ジャパン有限会社	一貫生産体制によるタイミングブリーの高精度安定生産の実現	
119	中野BC株式会社	ゼロエミッション達成に向けた梅由来複合新素材の開発	
120	大和ブロック株式会社	景観を保全・創出する護岸ブロックの量産化計画	
121	株式会社大畑鉄工所	NCドリルマシン導入による生産性、品質向上及び作業環境改善	
122	有限会社太陽食品	規格外品柿 (未利用資源柿) の利活用	
123	株式会社前田豊作堂	新塗装ブースの導入による位牌の製造効率の向上と製造本数の拡大事業	
124	貴志川工業株式会社	デザインシステム・SRY型編み機導入による、短納期対応、コストダウン、販路拡大計画	
125	株式会社石橋	横型攪拌乾燥装置によるバイオコークス原料多様化技術の開発	
126	有限会社麵彩工房ふる里	紀北産フルーツ等を使用した「大福」の製造により地域活性化を図る計画	
127	株式会社宮本商店	最新型NC旋盤導入をし、他社に負けない低コスト化・納期短縮の実現	
128	株式会社レシアン	クラウドを活用したシステム開発による新しい注文サービスの提供事業	P20
129	株式会社近代技研	CIMの実用化に向けた高度な建設生産システム構築の取組への参画	
130	株式会社コムテック	サービス付高齢者住宅内の居住者向け新しい個別販売サービスの実現事業	
131	株式会社コスモ化工	ロングバイル人工芝用タフト機導入による顧客ニーズへの対応と競争力強化	
132	有限会社ニシデ	生産加工の効率化、高精度化のためのレーザーカットマシン及びルーターマシンの導入計画	
133	南海スチール株式会社	安定電流を求めたマルチスポット溶接機改良計画	
134	酒本物流有限会社	新型尿素水製造装置導入によるトラック排ガス浄化装置の閉塞防止とコスト削減	P22
135	株式会社ワカヤマヤモリ舎	遊休不動産を活用! 国内外から旅行者を呼び込む、和歌山市初の「まちづくり交流宿」	
136	株式会社フレック	情報化技術導入による完全防水製品の自社ブランド構築	
137	コーワプラス株式会社	市場ニーズに、機動的に対応できる粘の加工品提供体制の確立	
138	有限会社Kテック	多面加工実現による樹脂部品の高精度化及び生産性の向上	
139	有限会社家具のあづま	伝統工芸士が造る、家と家具のオーダーハウス	
140	メイク広告株式会社	視認性・耐久性に優れた看板の製作とコストダウン・工期短縮の取組	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載P
1	京和グリーン株式会社	産業用ロボットを利用した野菜苗の自動移植装置の開発	
2	大洋化学株式会社	R-PET樹脂製品の拡販を目的とした加飾設備投資	
3	株式会社かつら木材商店	高度な帯鋸目立て加工技術の内製化による生産ロスの低減と生産性の向上	
4	有限会社丸之内マシーナリ	3DCAD導入による生産プロセスの高機能化と高収益化事業	
5	橋電装工業株式会社	最新ベンダー導入による生産プロセス改革とIoTによる工場間連携体制の構築	
6	株式会社嶋水産	「しらす」の、最新モデル選別機による安全と品質と生産効率向上の実現	
7	株式会社ホロン精工	高機能測定装置導入によるゴムシール部品の寸法測定高信頼化・低コスト化	
8	株式会社坂口製作所	薄板溶接加工と異材溶接技術確立による板金溶接加工品の競争力強化	
9	株式会社ウメカ食品	地元食材 (梅・果実) を利用した小ロット多品種の新商品製造・販売	
10	株式会社久保製作所	「防災用ソックス一体型「全身スーツ及び防水ズボン」陸用」の開発プロジェクト	
11	丸和ニット株式会社	両面ジャカード編機導入による企画力と技術力の強化	
12	株式会社早和果樹園	社内物流のボトルネック解消を目的とした製造出荷連携ラインの構築	
13	花野食品	農産物 (青果物) の加工及びその残渣を有効活用	
14	株式会社アイセン	「落ちますボンジ」の内製化による品質の安定化および生産能力の向上	
15	株式会社アイガット	新しい起毛ニット生地の生産体制の構築	
16	株式会社西川製作所	溶接工程の自動化による内視鏡洗浄装置部品のさらなる短納期化と高品質化の実現	
17	大亜鋼業株式会社	最新型レーザ加工機導入による品質向上・生産工程の効率化と新規顧客の獲得	
18	中野BC株式会社	「日本庭園のある酒蔵」観光インバウンド事業 (多言語対応)	
19	有限会社ハヤシ精機	マシニングセンタ導入による生産性向上事業	
20	セイカ株式会社	新規高機能樹脂のための金属フリー芳香族ジアミンの環境調和型製造法の開発	
21	株式会社イワハシ	地場産業向け超肉厚成形品の品質向上・コスト削減計画	
22	オカ株式会社	革新的切断法によるマット生産設備増設事業	
23	桜井鉄工株式会社	最新CNC旋盤による異形継手及び非鉄製品の新たな分野展開	
24	アドバン工業株式会社	業務用エアコンの海外展開を加速させるための冷媒フロート弁の高精度加工	
25	株式会社テクモ	航空機等に使用される高精度チタン製ねじの製造を可能にするフォーマー加工金型の製造	
26	株式会社三晃精密	同時5軸加工システム導入による複雑形状品製造の高速高精度化と収益力強化	
27	有限会社イシイ	小型で5軸のマシニングセンター導入による生産プロセスの改善	
28	旭精機株式会社	精度を維持し現状比2倍の大型金型を製作する生産体制の確立	
29	有限会社ティ・ティ・エム	高野口伝統技術と先端技術の融合により、Made in 高野口を世界に普及させる	
30	有限会社ハヤシ・シザース	海外市場開拓を目指したメンテナンスフリー超耐久性美容鏡の開発	
31	関西化工株式会社	次世代自動車市場向けコンデンサ用封口ゴムの安定生産方式の開発	
32	三木理研工業株式会社	低ホルマリンメトキシメラン樹脂の開発・製造	
33	株式会社興和製作所	橋梁耐震補修事業への本格進出にあたっての生産体制確立と品質向上	
34	株式会社メイワ	「SUS容器TIG溶接ロボットシステム」導入による生産能力及び付加価値の向上	
35	株式会社不動農園	梅甘納豆など「種なし梅」シリーズの商品化	
36	竹島鉄工建設株式会社	ビルドボックスの市場ニーズへの迅速な対応とタイムリーな供給体制の構築に向けたエレクトロスラグポータブル溶接機の導入	
37	株式会社小松原	レーザー加工機を用いた高品質・低コストの生産システムの確立	
38	松屋電工株式会社	次世代塗装下地処理設備導入による塗膜性能アップと環境にやさしい工場の実現	
39	有限会社田辺食品工業所	当社主力商品に対する高度な衛生管理技術の開発事業	
40	株式会社アイスティサイエンス	メタボローム分析を加速させるコンサルティング及び受託サービスへの取り組み	
41	小川工業株式会社	厚板の精密抜き加工における測定の効率化、工数削減による量産体制確立とモノづくり基盤技術の高度化	
42	カネマサ莫大小 (メリヤス) 株式会社	世界初の36ゲージを備えた縦糸挿入コンピュータジャガード丸編機の開発導入	
43	大岩自動車株式会社	最新高機能塗装ブース導入による、自動車鍍金塗装業の市場開拓	
44	株式会社たにくち	チョコレート製品の表面加工処理における品質向上と生産工程の効率化	
45	プラム食品株式会社	主に製菓原料としての保存性を有する梅加工品の製造	
46	ニッティ株式会社	省力化による生産性向上と内製化を追求し商品供給の安定化を実現	
47	和歌山染工株式会社	生産性・品質・コストでの優位性を向上させるデジタル染色システムの構築	P26
48	株式会社正木製作所	コンプレッサーの新製品化対応のための生産体制構築と低コスト化の実現	
49	株式会社紀和自動車	最新塗装ブース導入による環境改善、納期短縮、品質向上に伴う顧客満足度の向上	
50	株式会社PDI	デジタルデバイスを使用するIoT型スマートランチャーの性能向上と生産性の改善	
51	友ヶ島汽船株式会社	友ヶ島を訪れる観光客の満足度向上による人気の恒久化を図る	
52	株式会社八旗農園	桃の風味を最大限に引き出したピューレの低温殺菌処理加工技術の開発	
53	株式会社七色畑ファーム	ICT導入により生産性向上と高品質生産を実現するスマート農業	
54	株式会社紀州美食	乾燥工程の内製化による多品種小ロットユー	
55	柏木鉄工株式会社	高付加価値品加工の半自動化を実現させるCNC	
56	株式会社峯	開先加工機の導入による、飛躍的な加工精度と生産性の向上	
57	株式会社ヴァイオス	バイオガス発電と蓄電池を連携させたスマートリサイクル事業の展開	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
58	尾高ゴム工業株式会社	仕上げ加工工程の生産性向上、納期短縮と研磨技術の技術蓄積	
59	株式会社Queen	最小人員での受注管理を実現する外部連携受注システムの開発	
60	公園前中山歯科	全身の健康サポートまでを担う「健康長寿促進歯科医院」の展開	
61	株式会社鳥羽運送	和歌山県産みかん・柿輸送において高速パレットローラーシステムの導入による大幅な時間短縮輸送	
62	株式会社ドリーム産業	業界初の猫専用の美容器具の試作開発	
63	大伸化学工業株式会社	熱可塑性エポキシ樹脂含浸カーボン繊維の成型による形状付与に関する試作開発	
64	株式会社保田鉄工所	自動車産業分野への販路拡大によるCFRP金型売上増大計画	
65	株式会社雑賀製作所	アングルベンダーの導入によるステンレスタンクの海外競争力強化	
66	東洋機械加工株式会社	3Dデジタル技術と最新CIC連携による自動加工の実現と情報技術人材の育成計画	
67	アイレス電子工業株式会社	設備稼働・異常データ収集システム（試作）	
68	妙中パイル織物株式会社	新型タイピングマシンの導入による内部コストの削減と新分野での商品開発	
69	マルヤマ食品株式会社	成型機導入による生産能力の向上と製造コストの削減	
70	小畑産業株式会社	貿易・稟議・文書管理を有する高機能営業支援システムで顧客満足度の向上	
71	株式会社ナカエ	ネットショップサイト賞味期限更新・管理システム	
72	株式会社尾高工作所	テーブルスポット溶接機導入による高品質化、高生産性向上化事業	
73	株式会社世紀工業	ポーリングロッド着脱の機械化施工	
74	株式会社中口板金工作所	新規ニーズ・顧客への多品種・小ロット製品の製作コストダウンを目指して！	
75	有限会社ブバアー商会	最新検査システムを使用した太陽電池モジュールの革新的保守サービスの提供	
76	株式会社貴望工業	最新鋭の工作機導入による高精度・多品種少量生産への事業多角化	
77	合名会社丸正酢醸造元	伝統技法と現代技術の融合による醸造酢の生産性向上と輸出促進事業	
78	有限会社阪和熱工	最新モデルの硬度計を駆使して精度の高い計測を行う	
79	有限会社一陽建設	情報化施工機器の導入と若年層人材を確保育成できる新体制の構築	
80	有限会社紀陽工作所	長尺NC旋盤加工機導入による受注増大事業	
81	株式会社インテリックス	縫製プロセス見直しによる生産効率・歩留及び品質向上計画	
82	株式会社ODEC	プレス成型機用精密金型の内製化と金属・ゴム一体化製品の開発	

平成 28 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	有限会社京和機工	3次元CADを導入して高性能なドラム缶搬送設備の開発計画	
2	株式会社土井シャーリング	海底構築物事業への参入のための加工システムの構築と加工設備の導入	
3	小西化学工業株式会社	受発注管理システム導入による福井工場-本社間接部門の業務一体化	
4	株式会社世紀工業	ICT技術を活用した3次元測量による建設工事測量の効率化のための測量サービス提供	
5	株式会社則種海産	色彩選別機導入によるしらす選別・異物除去プロセスの高度化事業	
6	有限会社マルヨシ	X線異物検出装置の導入による安心・安全な食品提供体制の確立	
7	株式会社ヤマヨテクスタイル	ハイゲージ丸編機導入による生地安定供給とニット市場の拡大	P30
8	株式会社オージャス	日本国内には存在しない電動開閉式露天風呂が全室に付く温泉旅館	
9	株式会社西川製作所	内視鏡洗浄機部品の製造における曲げ工程の高精度化とサイクルタイムの短縮	
10	太陽食品株式会社	IoTを用いた各種製造プロセス情報の統合的管理による能動型OEM製品(菓子)の高効率大量生産体制の確立	
11	有限会社深見梅店	有機南高梅の商品到着日時指定サービスに係る長期貯蔵技術開発	
12	福原ニードル株式会社	YAGレーザー溶接加工を付加した高品質ファインゲージメリヤス編針の生産体制強化	
13	株式会社旭洋冷蔵	最新型選別機の導入による地元産規格外果実の学校給食への供給促進	
14	キセイ株式会社	高周波溶着機導入によるテントシート製品のイベント・展示会向けの事業拡大	
15	株式会社たにくち	「具材の食感と視覚」を楽しめる固形物入り高級チョコレート製品の生産体制の確立	
16	株式会社マージネット	「見える化」でリアルタイム情報を共有する革新的サービスの構築	
17	株式会社インテリックス	オーダーカーテン販売における革新的サービスの導入による販売力強化事業	
18	ヤマサ工業株式会社	自動充填包装機の導入による「ほしものびより」の低コスト化及び生産性向上	
19	島研摩機材株式会社	レアアース磁石製造工程で発生する屑リサイクル計画	
20	有限会社レストランフライヤ	創業84年の伝統をもとに最新設備導入による中食事業の高度化	
21	株式会社興和製作所	大型鉄骨溶接の自動化による熟練工の高付加価値部門への集中配置	
22	株式会社河北食品	革新的なアレルギー対策ライン設置による安心と安全な学校給食の提供	
23	株式会社第一製版印刷	Aネットワーク参入による機械故障の予防保全と生産性向上	P32
24	ニッテイド株式会社	アンドロイドと自動化による生産管理強化と品質管理の強化	
25	中野BC株式会社	脂溶性成分(油分)を含有する丸剤の開発	
26	金剛ダイス工業株式会社	小径異形穴金型の非接触測定技術の構築と新事業展開	
27	大阪精機工作株式会社	高速ワイヤ放電加工機導入による1μm単位の高精度加工技術の確立	
28	株式会社小谷製缶工業	生産ライン増強による住宅・ビル向けアルミ建材の増産・高精度化	
29	株式会社伊藤農園	有田みかん加工品の販売拡大に伴うキャッパー機及び搾汁機設備導入	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
30	株式会社サンテック	最新のワイヤー放電加工機の導入による、生産工程の革新的改革	
31	紀陽除虫菊株式会社	大容量除湿剤の溶着加工・容量検査の高精度化 および増産体制の確立	
32	日吉染業株式会社	カーテン業界のニーズに対応した多色柄広幅ポリエステル生地生産技術の確立	
33	株式会社和歌山トムソン	新型グルアーを導入し商品価値を高める形状の紙器をデザインする取組	
34	株式会社丸昌	業務用寝装品検査システム導入による品質及び顧客サービス向上計画	
35	林田株式会社	一体編成によるニット製品の高品質化と短納期化およびオーダー事業の展開	
36	扶桑精機株式会社	小径精度穴の加工プロセス改善による プリンタ精密部品の生産力強化	
37	アドバン工業株式会社	自動車の新機軸安全装置に使用される精密部品の製造開発	
38	株式会社坂本製作所	平面研削盤の導入による製品の高精度化及び品質の安定的供給	
39	株式会社大和化学工業所	世界初！ハイブリッドトイレブラシの開発からの自動インサート生産体制の確立	
40	久保田工業株式会社	最新型CNC旋盤導入による競争力強化に伴う経営力強化	
41	株式会社赤井工作所	CNCファイバーレーザ加工機導入によるIoTを活用した生産管理及び生産性の向上計画	
42	葉匠錦花堂	菓子製造工程で自動包装機を新規導入することによる生産性向上、及び看板商品の拡販	
43	株式会社テクモ	冷間圧造による自動車向け複雑形状部品の製造を可能にする高精度な金型の製造開発	
44	株式会社浅野商会	大型焼付塗装機導入による納期短縮と顧客ニーズへの対応	
45	原田織物株式会社	新分野進出の為、革新的な生産プロセスの改善と品質基準の高度化計画	
46	デュプロ精工株式会社	小型製紙装置の低価格・コンパクト化に向けた部品内製化事業	
47	アクロナイネン株式会社	ダイカスト鋳造ピストンの生産設備導入と国内生産の増強	
48	株式会社貴望工業	中国向け高精度組立自動化ライン開発の体制強化	
49	西原精工株式会社	大型マシニングセンタ導入による内製化及び生産性の向上	
50	橋電装工業株式会社	新規サッシ事業の推進に向けた長尺加工用ベンダーの導入とIoTの強化	
51	株式会社進藤建設	3D設計ソフトとITを活用した工程管理による総合建築サービス	
52	東洋機械加工株式会社	IoT、AI技術を用いた生産プロセスの見える化と労働生産性向上計画	
53	株式会社阪中緑化資材	独自性の高い独創的な山林苗の育苗トレーの開発・市場投入による新規顧客の開拓	
54	アイエムティー株式会社	試料用作成装置における部品の内製化に伴う加工技術の最適化及び高度化	
55	有限会社中筋オートボデー	生産性・審美性・品質向上を実現する高性能シャーリング機導入によるオリジナルボデーの作成	
56	株式会社小川製作所	レーザー溶接・切断機導入による生産性及び精度の向上と人材育成の推進	
57	有限会社シーケーテクノ	自動車産業向け部品の製造工程を見直し、高精度・短納期を実現させる計画	P34
58	株式会社神戸屋	ソーセージの合理化設備導入とHACCP認証検査設備で品質向上	
59	有限会社樽の味	発酵技術を駆使した原材料内製化による無添加甘酒の製造プロセスの変革	
60	樹谷精工株式会社	混合ガス(H _e +N ₂)充填・回収装置導入による生産コスト削減及び検査品質向上	
61	株式会社岡田織物	自動裁断機導入による合理化及び企画提案型企業への変革	

平成 29 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	株式会社イワハシ	世界初のワイニンググラス専用の多機能収納庫の開発事業	
2	株式会社丸徳水産	海水温に左右されない養殖魚管理の実現にむけて～陸上での管理設備の導入～	
3	株式会社ホットフィールド	安価で高品質な業界初ニット織ダッシュボードマット生産計画	
4	有限会社ハヤシ・シザース	世界初のメンテナンスフリー製の製造体制の構築と国内外市場の拡販	
5	株式会社ファーストライン	3温度帯対応物流センターの新設と効率運用による革新的物流サービスの提供	
6	尾高ゴム工業株式会社	高機能産業車両用タイヤ製品(高硬度ウレタン)群の市場展開	
7	株式会社川口工業所	高炉用消耗部品等の内製化によるリードタイム短縮と不良率低減計画	
8	アドバン工業株式会社	電気自動車に使用される減速モジュール部品の製造開発計画	
9	株式会社テクモ	自動車の更なる軽量化を実現するためのアルミニウム合金用フォーマー金型の製造開発	
10	高田機工株式会社	建築用鉄骨の高精度化と納期短縮を実現するための「孔あけ」工程の改善	
11	株式会社宮本商店	低燃費・環境問題に寄与する自動車用高付加価値部品の生産性向上計画	
12	サクセム株式会社	10年に及ぶ研究期間を経て開発した非常用保存食「ライフブレット」の飛躍的な生産性の向上	
13	有限会社紀の川ステンレス	酸洗い槽の溶液を加熱するヒーター(ボイラー)を新規導入することによる生産性の向上	
14	米阪パイル織物株式会社	デジタルジャガード設備導入による電車シート用高級パイル織物の品位向上及び生産性向上計画	
15	株式会社西川製作所	3次元レーザ加工による農機・建機フレーム等の高精度化・短納期化の実現	
16	大洋化学株式会社	学校給食用エコ食器の普及・促進を目的とした設備投資	
17	株式会社早和果樹園	みかんの新価値を創造する、陳皮製品の生産開発	
18	株式会社三晃精密	金属加工品の三次元測定検査におけるICT活用による高速化と生産性向上	
19	株式会社和歌山印刷所	新規設備導入を機に全社的な生産性向上を目指して働き方改革を断行する。	
20	白光印刷株式会社	自動検知と多能工化で少量多品目が進む印刷市場に適応し増収増益	
21	株式会社リハートテック	誤嚥性肺炎予防のための嚥下の筋肉訓練具の量産化	
22	株式会社進藤建設	インフラ再整備に向けたコンクリート構造物の革新的再生工法の確立	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
23	原山工業株式会社	新規事業として焼付け塗装処理を新工場で立ち上げ、一層の売り上げ・利益増を狙う。	
24	株式会社インテリックス	既存生産プロセスへの生産性向上のための IOT 活用	
25	トップマン工業株式会社	無縫製によって組み立てるサポーター及びコルセットの開発	
26	竹上木材株式会社	収穫期を迎えた林分に於ける高効率生産システムの構築	
27	株式会社社本組	線路崩落事故防止のための砕石杭工法による革新的地盤改良サービス	
28	福原ニードル株式会社	最新型ワイヤ放電加工機の導入によるプレス金型製作の高性能化及び効率化	
29	株式会社 ODEC PRECISION	独自改良型プレス成型機の効率導入により生産性向上と不良品率 0% を目指す	
30	和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社	最新型ホストコンピュータと車検ラインシステム導入による即日車検サービスの提供事業	
31	橋電装工業株式会社	塗装ロボット導入による粉体塗装工程の生産性と品質の向上	
32	有限会社ジコー	検査工程の効率化による短納期の実現および当社独自の生産体制の強化	
33	株式会社大覚総本舗	業務用小容量ごま豆腐の溶着精度の高度化と増産体制の確立	
34	株式会社ふみこ農園	ギフト商品及び景品商品等の生産性向上と働き方改革の改善をはかる	
35	有限会社浜寿	地域資源を活用した新商品開発と最新オープンへの導入による競争力強化と生産性の向上	
36	株式会社ヤマヨテクスタイル	丸編ニット生地への非衣料部門への進出	
37	株式会社 South wind	ファインブランキング用金型加工新規事業の確立	
38	イケゾエ FRP プロダクツ株式会社	溶接方式の HDPE (高密度ポリエチレン) タンク事業の展開で業績向上を図る事業	
39	水落工業株式会社	マシニングセンタの新規導入による金型の内製化によるコストダウン	
40	中野 BC 株式会社	梅酒うめを用いた梅干し風味ペースト製造ラインの導入	
41	和歌山ワイナリー合資会社	和歌山初のワイナリーに最新設備を導入し、高生産性と高品質化を実現する	
42	株式会社中口板金工作所	素材カットのコストダウン追求と新素材への挑戦!	
43	セイカ株式会社	航空宇宙材料用 新規・非対称芳香族ジアミンの環境調和型製造方法の開発	
44	成和技研株式会社	HV 自動車等のトルクコンバータ部品需要増に対応した生産能力強化体制の確立	
45	株式会社小川製作所	生産体制の再構築による付加価値の高い精密機械の構造製品市場への参入事業	
46	カドヤ株式会社	広幅フィルムラミネート設備導入による革新的製品開発及び生産性向上を目指したプロセス改善事業	
47	株式会社タイボー	多品種再生原材料における生産条件の自動収集とデータベース化事業	
48	カネマサ莫大小株式会社	世界初のハイゲージ・ジャガード編機の導入と織物ライクのニット生地開発	
49	有限会社橋爪商店	商品力の強化及び海外の販路開拓プロジェクト	
50	有限会社プロミール	新商品マグロの加工商品の開発及び販売	
51	株式会社寿精密	リチウムイオン二次電池構成部品の生産性向上に係る量産プロセスの確立	
52	合名会社丸正醸造元	世界遺産那智の神水を利用したブランド御酢量産対応化	
53	株式会社森浦鉄工所	自動送りバンドソーマシン導入による生産性の向上	
54	ブラボテック	高性能脱臭装置付きベットの自社ブランド商品化実施計画	P38
55	原田織物株式会社	プリント試作品納期短縮及び生産進捗状況の革新的な「見える化」計画	
56	中井産業株式会社	宿泊施設のインバウンド拡大に伴う和風空間提案のための設備投資	
57	株式会社坂本製作所	最新ワイヤー放電加工機の導入による顧客満足度の向上	
58	有限会社家具のあづま	伝統工芸士の技法を機械にて実現した桐生活雑貨商品の生産効率化と QCD 向上	
59	株式会社神戸屋	鶏肉の合理化設備導入と HACCP 認証 X 線検査設備で品質向上	
60	紀州技研工業株式会社	可食性インクの商業化に向けてのインク開発及び製造関連設備投資事業	
61	株式会社はまだ	古紙リサイクル製紙原料の生産性向上に資する紐取り装置の導入	
62	まるとも海産	ノンフローズンしらす増産・新商品開発に向けた生産体制構築	P40
63	日吉染業株式会社	スポーツパレレルをターゲットにしたインクジェット捺染の生産技術構築	
64	和歌山マリナーシティ株式会社	最新仮想/拡張現実体験施設の新設による施設全体の回遊・魅力向上	
65	株式会社果無	3D レーザスキャナと UAV 導入による高度測量サービス体制の確立と新事業展開	
66	有限会社アースワーク	最新型タレットパンチプレス機導入による生産性・品質向上に伴う競争力強化事業	
67	株式会社貴望工業	精度保証を軸にした高精度加工領域への挑戦 ~ 将来の目標は航空機産業 ~	
68	株式会社サンコー	簡易ロボットの開発による生産プロセスの改善 (品質、コスト、生産性)	
69	アイバイオプロダクツ株式会社	八朔など柑橘類の外皮及び内皮の酵素剥離技術による生産の拡大	
70	ブラム食品株式会社	高速カメラ式検査装置導入による瓶詰飲料部門での空瓶検査工程の精度向上と品質向上を図る	
71	有限会社まるた産業	独自の販売システムを活用したクオリティーの高い特殊畳による事業拡大	
72	有限会社中田鶏肉店	頑張る零細食品工場の生産性、収益性のアップと販路拡大への取り組み	
73	株式会社大和化学工業所	高精度油圧コントロール射出成形機によるボイドレス厚肉成形品の高品質化	
74	有限会社オランダジェ	CADCAM システム導入による企画提案力強化と生産性向上	
75	はたなか歯科クリニック	歯科医院における技工所向け CAD/CAM 導入による患者様への還元	
76	株式会社雑賀製作所	板金用 3 次元 CAD/CAM システムの導入による生産プロセス革新事業	
77	有限会社榊谷機工製作所	マシニングセンタの導入及び検査体制の構築による生産性・品質の向上	
78	株式会社サンメイト	刺繍加工の内製化による、生産効率の改善と品質の向上・安定化の実現	
79	デュプロ精工株式会社	データ検証・分析能力の向上による高性能な簡易製本機の開発	
80	有限会社ブバアー商会	高精度空撮画像による太陽光発電システムの革新的建設・保全サービスの提供	
81	丸長食品加工株式会社	フィーレ定塩加工技術の導入および味付加工フィーレの開発	
82	タイミングブリー・ジャパン有限会社	生産ラインバランスの改善による平均リードタイムの 10% 短縮	
83	久保印刷 デザインルーム	PUR 製本機による作業内製化と新商品開発による新規販路開拓	P42

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
84	ワコン株式会社	折りたたみ式保冷BOX (C-BOX) の開発	
85	株式会社河北食品	高齢者施設向け「1日3食新鮮な食材」を届けるための製造工程変革	
86	協同組合ラテスト	スプレードライヤー導入による繊維練り込み素材の生産プロセス改良	
87	有限会社原見段ボール	最新スリッター導入による省力化・生産性向上・コストダウン実現	
88	大阪精機工作株式会社	パルス切断技術による高硬度大型鋼材切断と生産性向上の実現	
89	有限会社ハヤシ精機	最新の CAD/CAM システム導入による、生産性の向上と人材の育成	
90	株式会社利種海産	和歌山から世界へ! 「自動帯掛機」の導入による商品バックキングの高度化	
91	株式会社アイガット	新しいジャガード裏毛の編み生地の生産と新生産システムの構築	
92	紀陽除虫菊株式会社	紛体自動充填包装機等の新規設備投資による増産体制の確立と売上拡大	
93	株式会社 ODEC	革新的金属 3D プリンターを導入し、金属加工の不可能を可能にする	
94	有限会社建創	機能性・デザイン性に優れた高品質のオーダーメイド建具を短納期で提供する取組	
95	有限会社紀南莫大小工場	ホームウェア向け高付加価値生地の丸編み工程の高度化と生産性の向上	
96	御坊自動車整備協同組合	先進安全自動車 (ASV) 対応最新エイミング機器導入による顧客車両の安心・安全の提供事業	P44
97	新星自動車	最先端塗装ブースの導入による「水性塗料」への対応と競争優位性の強化	
98	株式会社紀之川製帽	先進横編機の導入によるデザイン性のある差別化製品の開発と製造能力の拡大	
99	株式会社サンアクティス	完熟温州みかんを3ヶ月以上鮮度そのまま保存する技術による新規事業の展開	
100	株式会社平成建機	最新式混合物選別装置を導入し廃棄物を有価物に転換させる事業	
101	株式会社山本進重郎商店	プレカット生産ラインの LAN 環境整備と IOT の活用による稼働率改善及び生産性向上	
102	扶桑鍍金株式会社	万能研削盤導入による幅狭形状への下地処理とメッキ処理の効率化	
103	木下建設株式会社	和歌山県バイオマススタウン構想に対応した設備導入計画	
104	東洋機械加工株式会社	管理データの自動処理・加工最適計画による生産性向上システム	
105	有限会社土屋総合印刷	職人技が必要な版作りをデジタル自動化、働き方改革を進める	
106	株式会社信濃路	セントラルキッチンの有効活用による労働生産性・サービス品質の向上	
107	株式会社ヴァイオス	高効率 UASB 式メタン発酵処理システムの導入による高濃度排水処理サービスの提供	

平成 30 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	株式会社和歌山トムソン	CTP を導入して刷版工程の改善により、高付加価値の紙器を提供する取組	
2	株式会社テクモ	電気自動車部品の量産試作に対応する、新素材金型の短納期製造	
3	アドバン工業株式会社	海外で活躍する次世代フォークリフトに使用される高精度部品の製造開発	
4	株式会社ホロン精工	自動車用ゴムシール部品外観検査の IT 化による品質向上・低コスト化計画	
5	尾高ゴム工業株式会社	シート出し用ロール機導入による合成ゴムの不良対策及び生産性向上	
6	湯浅醤油有限会社	海外向け醤油製品の瓶詰工程の効率化と人材配置の最適化	
7	水落工業株式会社	ワイヤ放電加工機と平面研削盤の新規導入による金型製作の多様化	
8	三木理研工業株式会社	繊維処理用合成樹脂の増産計画による冷却設備の増設及び工程合理化	
9	株式会社小谷製缶工業	建物改修需要の増加に対応するためのアルミ製窓枠製品の生産性向上	
10	株式会社第一製版印刷	最新製版データ処理システム導入による、生産性向上と働き方改革の推進	
11	株式会社紀州商合印刷	最新の冊子専用三方断裁ロボット導入による高生産性と高品質の達成	
12	旭精機株式会社	自動車部品の品質を左右する精密金型や工具の検査効率および精度向上	
13	紀州技研工業株式会社	サーマルカートリッジインク製造関連設備投資事業 (量産体制の構築)	
14	株式会社 ODEC	革新的関連機器の追加による金属 3D プリンティング事業の競争力強化	
15	株式会社酒向製作所	熱間鍛造と精密切削加工の一貫生産化が成す比較優位性と差別化。	
16	セイカ株式会社	5G 通信用ポリイミド向け新規芳香族ジアミンの開発	
17	太陽食品株式会社	主力ラインの生産性向上と、より安全安心な食品の生産体制の確立	
18	有限会社和歌山動物医療センター	全身用 X 線 CT 診断装置の導入による動物医療技術の高度化とサービス提供	
19	合同会社かつらぎ町あなば柿加工組合	選果機導入によるあなば柿包装工程の画期的改善計画	
20	株式会社石橋	独自セルフ給油システムのキャッシュレス化対応による売上拡大業務効率化	P48
21	有限会社シケータクノ	付加価値ワイヤ放電加工機導入による製造パンチ材の加工精度向上及び短納期生産体制確立	
22	有限会社ハヤシ精機	生産現場の多台持ち化の推進による、生産性の飛躍的向上	
23	株式会社大吉看板	製作工程の高効率化と高品質化により、屋外広告の新時代に対応する	
24	明楽ダンボール工業株式会社	段ボール加工における高精度サンプル提供及び製品短納期化による生産性向上事業	
25	有限会社山本板金	調査報告書作成と人材育成をリアルタイムで行う現場管理システムの導入	
26	株式会社フジメック	ロボット式プレスシステム導入による生産性向上で新市場開拓を目指す	
27	株式会社フジ田産業	県内初・最新 GPS ナビシステムの導入による省人化と生産性向上	
28	大亜鋼業株式会社	高機能ボルテックスミキサ導入による耐火物製品製造の生産性向上	
29	株式会社森浦鉄工所	廃棄物処理場設備製造の加工技術向上と改善による効率化計画	
30	福原ニードル株式会社	精密平面研削盤の導入によるメリヤス編針の高品質化及び生産効率の向上	

31	株式会社明和製作所	耐震化事業に伴う伸縮管の短納期と低コストの実現	
32	高野口動物病院	デジタルラジオグラフィと画像ビューワによる高画質画像診断環境の構築	
33	有限会社みの印章堂	西日本初の特殊製版事業による競争力強化プロジェクト	
34	株式会社カナセ	高機能・高品位アクリルボタンの製造	P50
35	ハイテック・デンタル・ラボラトリー	歯科用 CAD/CAM 新規導入による歯科技工の高精度デジタル事業	
36	日吉染業株式会社	アウトドア用品をターゲットにしたナイロン（生地）のプリントの生産技術構築	
37	株式会社ヤマヨテックススタイル	独自開発により新型ハイゲージ・クォーターニット生地の製造	
38	オーアイテック株式会社	精密高速圧造機による低コストの実現と高精度製品の供給の実現	P52
39	株式会社インテリックス	縫製工程の革新によるデザイン開発力の強化	
40	株式会社たにくち	最新型テンバリングマシン導入による品質向上と生産性向上の確立	
41	関西化工株式会社	次世代自動車市場向けコンデンサ用封口ゴムの確実な重欠点不良選別方式の開発	
42	株式会社井上	高まる日本製化粧品需要に応えるための化粧品の充填作業体制の構築	
43	大日本晒染株式会社	密閉拡布型液流染色機導入による織物製品のスレン染色技術の確立	
44	株式会社大和パッケージ	生産性と印刷品質が向上する本紙校正用印刷機の導入による事業拡大	P54
45	カナマサ莫大小株式会社	世界初のハイゲージ・セミジャガード・ダブルニット編機導入と唯一無二のジャガード柄生地の開発	
46	原田織物株式会社	経編ラッシュル機の生産性向上と革新的な生地再編能力の改善計画	
47	株式会社雑賀製作所	最新型プレスプレーキの導入による生産性の飛躍的な向上計画	
48	菱和株式会社	最新高速型全自動電線加工機の導入による革新的な生産効率の向上	
49	東洋機械加工株式会社	管状試験片に斜め線の人工傷を切削する技術を開発し、製造販売を強化	
50	株式会社ヴァイオス	高含水率で利活用が困難な下水汚泥を最適条件で堆肥化する省エネ乾燥システムの導入	
51	株式会社ふみこ農園	新商品となる「スパウトパウチ容器入り飲料及びゼリー」の製造工程の効率を図る	
52	有限会社麵彩工房ふる里	常温・無添加で賞味期限 60 日の生麺（紀の川うどん）開発による競争力強化計画	
53	株式会社八旗農園	桃ビューレの大量生産と作業プロセス改善による売上拡大計画	
54	株式会社合同興業	写真測量システムを導入した測量・施工工程の生産性向上	
55	株式会社西村物産	サーマルプリンタと印字検査システム導入による袋詰めしらすの増産体制の構築	
56	アクロナイネン株式会社	定速式摩擦材試験機の導入による新規摩擦材の性能保証計画	
57	エーベル鈴木	一枚切り自動裁断機の導入による生産性向上および品質向上計画	
58	株式会社九重雑賀	清酒の「三季醸造」確立による生産性向上と海外展開	
59	美和繊維工業株式会社	丸編み生産工程の作業改善による増産対応と埃除去による品質向上	
60	有限会社新紀建設	モルタル吹付機械の導入による新たな防草事業の開発と工事の内製化による受注拡大、生産性の向上	
61	株式会社西沢インダストリー	自動袋詰め装置の開発による食品容器キャップ生産プロセスの改善	
62	株式会社はまだ	ラベリングライン導入によるロジスティック事業の生産プロセスの改善	
63	有限会社紀陽工作所	刃物自動交換装置付き横型 NC フライス盤導入による生産性向上と新規受注増大計画	
64	株式会社モリカワ	LP ガス製造所 10 トン型機械装置導入によるコスト削減、営業チームの立ち上げで新規顧客獲得	
65	株式会社久保製作所	「全天候型（濡れないムせない）レインウェア」製造の自動縫製ライン開発プロジェクト	P56
66	小西化学工業株式会社	スーパーエンブラ向け高純度モノマーの低環境負荷製造プロセス開発	
67	株式会社エイコージマ	制服メーカーとしての飛躍に向けた最新アパレル CAD 導入計画	
68	協同組合ラテスト	顔料インク用備長炭ペーストの生産プロセス改良	
69	株式会社ファーストオーエー	革新的 3D 計測サービスの開発と普及	
70	株式会社小松金属	革新的加工技術による丸もの部品の生産性向上事業	
71	株式会社早和果樹園	フクロは貴重な資源！みかん丸ごと商品化計画	
72	デュプロ精工株式会社	高精度 3D レーザースキャナーを活用した「3 次元」品質管理体制の構築	
73	株式会社アイガット	吊り編み機の品質安定と生産効率の向上	
74	田村造酢株式会社	酵母の発酵工程改善を主軸とした柿酢の生産量の増大	
75	藤田ブラシ製作所	全自動ハイスピード植毛機導入による生産性向上と新型ブラシの開発	
76	株式会社吉田	醸造技術を活用したエールビール開発におけるデジタル制御での品質安定化の実現	
77	マルヤマ食品株式会社	若者向けの新しい梅干の製品化に向けた製造ラインの構築	
78	森川鉄工株式会社	高性能立型マシニングセンタ導入による生産能力の増強と短納期対応の強化	
79	株式会社中川	ドローン活用による低コスト造材推進事業	
80	株式会社中井鉄工所	一次加工工程の生産性向上と販路開拓のための新型プラズマ切断機の導入	
81	有限会社原見段ポール	データリンク可能な高性能自動結束装置導入による生産性向上・競争力強化	
82	伏虎金属工業株式会社	リチウムイオン電池向けスクリューポンプ用高性能設備による生産性向上計画	
83	大谷被服産業株式会社	CAD,CAM による品質及び生産性の向上計画	

わかやま ものづくり補助事業 成果事例集

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(フォローアップ事業)
令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業

発行日 令和3年1月
編集・発行 和歌山県中小企業団体中央会
〒640-8152 和歌山市十番丁19番地 Wajima 十番丁4階
TEL:073-431-0852
<http://www.chuokai-wakayama.or.jp/>

制作 株式会社和歌山リビング新聞社
〒640-8224 和歌山市小野町1-18
TEL:073-428-0281

※編集内容に関するお問い合わせに対応させていただきます。